

令和2年8月28日

令和2年千葉市教育委員会会議第8回定例会

千葉市教育委員会



# 千葉市教育委員会会議第8回定例会議事日程

令和2年8月28日(金)  
午後2時開会

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 会期の決定

4 会議録の承認

5 議事日程の決定

6 非公開審議の決定

7 報告事項

(1) 令和2年第1回千葉市議会臨時会について …… 1

[総務課]

8 議決事項

議案第82号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の  
状況に係る点検及び評価について【別添】

[企画課]

議案第83号 令和2年度補正予算について(9月補正)【別添】

[企画課・学事課・生涯学習振興課]

議案第84号 千葉市立小学校設置条例の一部改正について【別添】

[学事課]

議案第85号 千葉市立中学校設置条例の一部改正について【別添】

[学事課]

議案第86号 財産の取得について【別添】

[教育改革推進課]

議案第87号 財産の取得について【別添】

[教育改革推進課]

議案第88号 損害賠償額の決定及び和解について【別添】

[教育給与課]

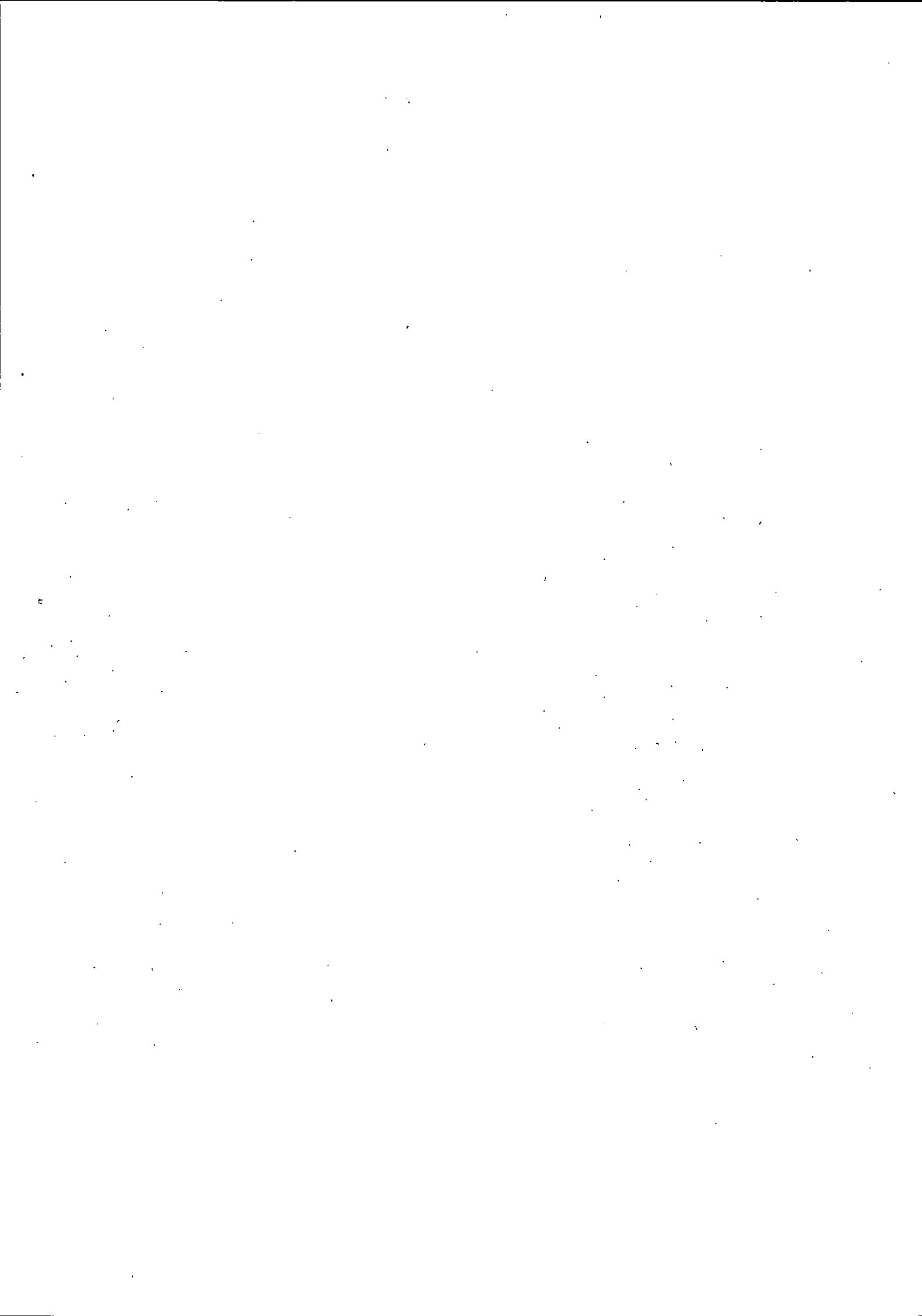
9 臨時代理報告

報告第9号 令和2年度補正予算について(7月補正) …… 3

[総務課・学校施設課・教育改革推進課・  
生涯学習振興課・中央図書館管理課]

10 その他

11 閉 会



報告事項（1）

令和2年第1回千葉市議会臨時会について

教育総務部総務課

1 会 期 7月27日～7月29日

7月28日	議案質疑、教育未来委員会
7月29日	常任委員会委員長報告、討論、採決

2 提出議案の審議状況

(1) 令和2年度千葉市一般会計補正予算(第6号) 【令和2年教委報告第9号】

※教育未来委員会の審査を経て、7月29日の本会議において可決された。

3. 議案質疑（現に議題となっている事件について、議案に係る提案理由説明を受けた後、討論、採決に入る前に、その疑義を質すために行う発言）

7人から通告があり、うち6人が教育委員会に関する質疑を行った。



報告第9号

令和2年度補正予算について（7月補正）

令和2年度補正予算について、次のとおり臨時代理により処理したので報告する。

令和2年8月28日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美

## 令和2年度補正予算について(7月補正) (新型コロナウイルス感染症対策関連)

教育総務部総務課、学校施設課  
 学校教育部教育改革推進課  
 生涯学習部生涯学習振興課、中央図書館

### 1 報告事項

学校やアフタースクールにおける感染防止対策の強化及び新しい生活様式の定着に向けた特別教室へのエアコン設置やオンライン指導のための環境整備、図書館のICT化に要する経費について、第1回臨時会にて補正予算の措置を講じたので報告します。

### 2 補正予算額 2,915,557 千円

【財源】	国	費	2,903,057千円
	県	費	12,500千円

### 3 補正予算の内容

事業名	事業費 (千円)	主な内容
学校の感染症対策の強化	258,000	内 容：感染症対策としての備品購入（加湿器等） 対 象：市立小・中・高・特別支援学校
小・中・特別支援学校特別教室エアコン設置	2,602,178 ※全額繰越明許費を設定	内 容：分散授業の実施や避難所として分散収容等を行うため、理科室、家庭科室、美術室等の特別教室（851教室）へエアコンを設置 設置校：市立小学校108校、中学校53校、特別支援学校2校 計163校 設置期間：令和4年3月までに設置予定 ※可能な限り令和3年夏から使用開始できるよう努め、設置が完了した学校から順次稼働
オンライン指導のための環境整備	38,035	内 容：再度の休校事態にも児童生徒の学びを保障するためオンライン指導が可能となるよう端末を設定変更するほか、Webカメラ（マイク内蔵）を整備 ※端 末：学校に整備済の4,864台を設定変更 Webカメラ：教師用として662台を購入
アフタースクールにおける感染拡大防止対策	12,500	内 容：マスク等の衛生用品購入や感染症対策を徹底した上での事業継続に必要な研修受講等に係る経費の補助 対 象：アフタースクール12か所
図書館のICT化	4,844	内 容：インターネットによる資料収集等を可能とし、図書館における学習機会の充実を図るため、館内のWi-fi環境を整備 対 象：中央図書館、地区図書館等（計14か所） ※令和2年10月下旬運用開始



議 案 説 明

令和2年度補正予算について、千葉市教育委員会組織規則第9条第1号の規定に基づき臨時代理により処理したので、同条第2項の規定に基づき報告するものであります。



令和2年8月28日

令和2年千葉市教育委員会会議第8回定例会

[議案書]

議案第83号関係	1
議案第84号関係	7
議案第85号関係	9
議案第86号関係	11
議案第87号関係	13
議案第88号関係	15



議案第 83 号

令和 2 年度補正予算について（9 月補正）

令和 2 年度補正予算を定めることについて、次のとおり市長に申し出るものとする。

令和 2 年 8 月 28 日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美

令和2年度補正予算について(9月補正)  
(東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会延期に係る減額補正)

教育総務部 企画課

1 補正理由

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が延期となったため、「学校連携観戦プログラム」によるパラリンピックの試合観戦に係る経費について減額補正を行う。

2 補正予算額 ▲ 60,630 千円

〔 【財源】 一般財源 ▲ 60,630 千円 〕

3 補正予算の内容

【内訳】 バス借上料 ▲ 58,195 千円  
 会場駐車場使用料 ▲ 2,435 千円

※予定していた観戦計画

観戦競技	幕張メッセで開催されるパラリンピック4競技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールボール</li> <li>・シッティングバレーボール</li> <li>・車いすフェンシング</li> <li>・パラテコンドー</li> </ul>
対象者	小学校及び第二養護学校：5・6年生 中学校：1年生 養護学校及び高等特別支援学校：全校生徒
移動手段	借上げバス（594台）

} 約 28,000人  
引率者含む

# 令和2年度補正予算について(9月補正) (学校・家庭間連絡システムの導入)

学校教育部 学事課

## 1 補正理由

新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、接触機会の低減を図るため、保護者との連絡のデジタル化を進めることが急務であり、専用アプリ等を通じた欠席・遅刻連絡や、配布資料の電子化等、新たな双方向型の連絡体制を構築し、保護者の負担軽減及び教職員の一層の働き方改革を図る。

## 2 補正予算額 1,272千円

〔【財源】 一般財源 1,272千円 〕

## 3 補正予算の内容

【内訳】 学校・家庭間連絡システム 使用料及び賃借料 1,272千円

稼働期間 令和3年3月～令和6年12月

（対 象 全市立学校 167校

小学校(108校)、中学校(54校)、特別支援学校(3校)、高等学校(2校)

## 4 今後の予定

令和2年11月 契約（長期継続契約）

令和3年 3月 稼働開始

令和3年 4月 保護者登録開始

[参考]

<支出予定額>

(単位:千円)

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計
1,272	14,832	14,832	14,832	11,124	56,892

# 令和2年度補正予算について(9月補正) (臨時休館を行った千葉市科学館の指定管理料変更)

生涯学習部 生涯学習振興課

## 1 補正理由

新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館を行った科学館について、施設の適正な管理を確保するため、年度当初に決定した指定管理料を増額変更する。

2 補正予算額 5,668千円

[ 【財源】 国 費 5,668千円 ]

## 3 補正予算の内容

下記の、休館に伴う増額要素から減額要素を差し引いた額を補正予算額とする。

### 【増額要素】

(1)各種収入(前年度4・5月) (入会金、バス駐車場料、入館料等)	11,042千円
(2)感染症予防対策費 (備品・消耗品購入)	832千円
(3)遠隔地校来館助成バス増額費	446千円
(4)検温等対策人件費 (R2.6月～R3.3月を想定)	954千円
計	13,274千円

### 【減額要素】

(5)各種支出 (今年の支出予定額から実績額の差引や前年度4・5月の支出額から今年度の差引)	
①スタッフ人件費	1,907千円
②光熱水費	3,699千円
③有償ボランティア活動費(交通費)	1,395千円
④講師謝金等	605千円
計	7,606千円

$$13,274千円 - 7,606千円 = 5,668千円$$

## 4 今後の予定

令和2年10月～11月 指定管理者との年度協定の変更  
令和2年11月以降 変更後の指定管理料の支払



**【参考】**

(単位：千円)

対象施設	当初の 指定管理料	変更後の 指定管理料	補正額
科学館	399,100	404,768	5,668

議 案 説 明

令和 2 年度補正予算について、市長に意見を申し出るため、千葉市教育委員会組織規則第 8 条第 6 号の規定に基づき、議決を求めるものであります。

議案第 84 号

千葉市立小学校設置条例の一部改正について

千葉市立小学校設置条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するよう市長に申し出るものとする。

令和 2 年 8 月 28 日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美

千葉市条例第 号

千葉市立小学校設置条例の一部を改正する条例

千葉市立小学校設置条例（昭和 39 年千葉市条例第 15 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条の表千葉市立大宮台小学校の項を削る。

附 則

この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

議 案 説 明

大宮小学校及び大宮台小学校を統合し、大宮小学校とするため、条例の一部を改正するよう市長に申し出ることについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定により議決を求めるものであります。

議案第 85 号

千葉市立中学校設置条例の一部改正について

千葉市立中学校設置条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するよう市長に申し出るものとする。

令和 2 年 8 月 28 日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美

千葉市条例第 号

千葉市立中学校設置条例の一部を改正する条例

千葉市立中学校設置条例（昭和 39 年千葉市条例第 16 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条の表千葉市立高洲第一中学校の項及び千葉市立高洲第二中学校の項を削り、同表に次のように加える。

千葉市立高洲中学校	千葉市美浜区高洲 2 丁目 3 番 18 号
-----------	------------------------

附 則

この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

~~~~~

## 議 案 説 明

高洲第一中学校及び高洲第二中学校を統合し、新たに高洲中学校を設置するため、条例の一部を改正するよう市長に申し出ることについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定により議決を求めるものであります。

## 議案第86号

財産の取得について

次のとおり財産を取得するよう市長に申し出るものとする。

令和2年8月28日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美

- 1 取得財産 G I G Aスクール用パーソナルコンピュータ  
(1) パーソナルコンピュータ 76,949台
- 2 取得予定価額 3,681,883,700円

~~~~~

### 議案説明

G I G Aスクール用パーソナルコンピュータを取得するよう市長に申し出ることについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定に基づき、議決を求めるものであります。





議案第87号

財産の取得について

次のとおり財産を取得するよう市長に申し出るものとする。

令和2年8月28日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美

- 1 取得財産 G I G Aスクール用電源キャビネット
  - (1) パーソナルコンピュータ44台用電源キャビネット  
2, 243台
  - (2) パーソナルコンピュータ22台用電源キャビネット  
168台
- 2 取得予定価額 215, 533, 010円

~~~~~

議案説明

G I G Aスクール用電源キャビネットを取得するよう市長に申し出ることについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定に基づき、議決を求めるものであります。



## 議案第 88 号

### 損害賠償額の決定及び和解について

次のとおり損害賠償の額を定め、和解するよう市長に申し出るものとする。

令和 2 年 8 月 28 日提出

千葉市教育委員会教育長 磯野和美

#### 1 損害賠償額

13,280,320円

#### 2 相手方

東京都千代田区丸の内3丁目4番1号

株式会社 J E C C

専務取締役 依田 茂

#### 3 事件の概要

千葉市が、平成 29 年 1 月 6 日付けで相手方と締結した「人事給与情報システム機器等賃貸借契約」について、新システムの稼働に伴い、賃貸借物件が不要となることから、令和 2 年 4 月 1 日付けで当該契約の一部を変更して契約期間を短縮したところ、相手方に残存期間に得られるはずであった利益相当額の損害を与えたもの

#### 4 和解条項

- (1) 千葉市は、相手方に対し、前記 3 事件の概要に記載の事件（以下「本件事件」という。）による相手方の損害について、13,280,320円の賠償義務があることを認める。
- (2) 千葉市は、相手方に対し、前号の金員を、令和 2 年 10 月末日までに、相手方の指定する金融機関口座に振り込むことにより支払う。
- (3) 千葉市及び相手方は、千葉市と相手方との間には、本件事件に関し、本和解条項に定めるもののほか何らの債権債務のないことを相互に確認し、今後いかなる事情が発生しても異議を申し立てないことを確約する。
- (4) 本和解条項は、千葉市議会の議決を得たときに効力を生ずるものとする。千葉市議会の議決を得られないときは、本和解条項は無効

とする。その場合、千葉市は、一切の責任を負わないものとする。



#### 議 案 説 明

損害賠償の額を定め、和解するよう市長に申し出ることについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第6号の規定に基づき、議決を求めるものであります。

令和 2 年 8 月 2 8 日

令和 2 年千葉市教育委員会会議第 8 回定例会

[参考資料]

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 議案第 8 2 号関係……………         | 1  |
| 議案第 8 4 号関係……………         | 21 |
| 議案第 8 5 号関係……………         | 25 |
| 議案第 8 6 号・第 8 7 号関係…………… | 29 |
| 議案第 8 8 号関係……………         | 31 |



I. 教育委員会の事務点検・評価制度の概要(報告書 P1~2)

- 1 対象年度 令和元年度
  - 2 法令上の根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条
  - 3 評価方法 教育委員会の権限に属する事項について、教育委員会が自らの事務の適切な執行について確認するとともに、点検・評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図っている。
- ※評価委員 学校教育分野：小橋 暁子(こはし さとこ)氏  
千葉大学教育学部准教授 専門：造形教育学  
生涯学習分野：岩崎 久美子(いわさき くみこ)氏  
放送大学教授(前国立教育政策研究所総括研究官) 専門：生涯学習政策
- 4 重点的に評価する事業等〔令和元年度の新規・拡充事業〕※( )は評価委員が視察・ヒアリング
- 学校教育分野：キャリア教育(千葉市立苅城中学校)  
・民間スイミングスクールを活用した水泳学習(千葉市立源小学校)
- 生涯学習分野：千葉市図書館ビジョン2040策定(中央図書館)  
・令和元年度夏の台風による被害を受けた文化財への対応(加曾利貝塚)  
・放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業(千葉市立千草台東小学校アフタースクール)

II. 教育委員会の活動状況(報告書 P3~4)

- 1 教育委員会会議を14回開催し、47件の議決を行った。
- 2 入学式等の学校行事や各種イベント、研修会、会議等に出席したほか、ホームページや教育だよりを活用した広報活動や養護教諭との意見交換などを実施した。

III. 点検・評価の結果(報告書 P5~P105)

- 1 教育委員会による自己評価  
学校教育分野は「第2次千葉市学校教育推進計画(H28年度~R3年度)」に、生涯学習分野は「第5次千葉市生涯学習推進計画(H28年度~R3年度)」にそれぞれ基づき、各施策を実施しているため、両計画の進捗状況を評価することにより、点検・評価を行った。また、令和元年度の新規・拡充事業のうち5つの事業について、重点的に評価を行った。

(1) 全体の評価について

| 区分          | ◎ | ○ | ×  | -  | 達成状況 |    |    |    |   |
|-------------|---|---|----|----|------|----|----|----|---|
|             |   |   |    |    | 達成   | 順調 | 遅れ | 休止 |   |
| 学校教育分野(54点) | 5 | 2 | 17 | 30 | 108  | 24 | 76 | 8  | 0 |
| 生涯学習分野(10点) | 1 | 3 | 4  | 2  | 66   | 22 | 28 | 14 | 2 |

| 区分 | ◎                  | ○  | ×               | - | 達成 | 順調 | 遅れ | 休止 |
|----|--------------------|----|-----------------|---|----|----|----|----|
| ◎  | 最終目標値(R3目標値)以上のもの  | 達成 | 最終目標(R3目標)以上のもの |   |    |    |    |    |
| ○  | 中間目標値(H30目標値)以上のもの | 順調 | おおむね順調に進捗しているもの |   |    |    |    |    |
| ×  | 中間目標値(H30目標値)未満のもの | 遅れ | 進捗状況に遅れが出ているもの  |   |    |    |    |    |
| -  | 達成率で評価しない(できない)もの  | 休止 | 事業を休止したのもの      |   |    |    |    |    |

成果指標は達成状況×の項目が多く、順調であるとは言えない。一方で、アクションプランは「達成」「順調」の項目が多く、おおむね順調に進捗していることから、実施している取組みが成果として表れていないことがわかる。毅然とアクションプラン等の取組みを進めるのではなく、取組みの効果を検証しつつ取組内容を見直し、より効果の高いものに改善する必要がある。

(2) 重点的に評価する事業等について

- ア キャリア教育 (報告書 P23~24)  
研究指定校において、「キャリア・パスポート」を活用した先行実践をするとともに、キャリア教育推進連携会議を2回開催し、中学校職場体験とキャリア・パスポートの課題等について協議した。また、業界団体等の協力により、小・中学校延べ72校で学校訪問を実施した。
- イ 民間スイミングスクールを活用した水泳学習 (報告書 P32~33)  
児童の泳力向上や教員の負担軽減などの効果を検証するため、小学校2校において民間のスイミングスクールを活用した水泳学習を実施した。児童の泳力や意欲向上のほか、水質管理や安全確保など教員の負担軽減に一定の効果が見られた。
- ウ 千葉市図書館ビジョン2040策定 (報告書 P72~73)  
図書館が地域の「知的拠点」として豊かな市民生活や本市の発展に貢献できるように、実現したい図書館の未来像を描き、逆算する形で取り組むべき施策を示す指針として、新たな図書館計画「千葉市図書館ビジョン2040」を策定した。
- エ 令和元年度夏の台風による被害を受けた文化財への対応 (報告書 P77~78)  
主に台風15号発生時の強風により、加曾利貝塚や月ノ木貝塚等の倒木や幹折れが発生したため、安全性を確保する上で必要となる伐採及び倒木撤去を実施した。また、旧生浜町役場庁舎では屋根瓦の剥がれ等の破損が発生したため、瓦の葺き直しなどの修繕を実施した。
- オ 放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業 (報告書 P84~85)  
実施校を1校から6校に拡充し、「安全・安心な居場所」と「学びのきっかけ」の提供に努めている。令和元年度に実施したアンケートでは、保護者、児童ともに7割以上の利用者から「満足」との回答が得られた。

2 評価委員による評価

小橋委員の意見(報告書 P97~99)

全体について(総括的所見)

- ・学校教育推進計画(6年計画)の4年目の取組みについては、平成31年3月の中間見直しも含めて概ね良好な成果を得ていると評価することができる。
- ・子どもたちの学びを保障し、夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子どもを育てるための学校教育につなげるため今後も継続的に改革を進め、第2次学校教育推進計画に基づいた各事業の企画・推進を期待したい。

キャリア教育について

- ・キャリア教育の課題とされている職場体験や進路調査だけに終わらないような計画や実践、質を高めるための改善に向けて評価がされており、充実した教育内容となっている。
- ・研究推進を行ってきた学校の事例等を活かせるよう、学校内外において継続可能な支援や、情報を共有するための仕組みづくりがさらに必要になるだろう。また校内外でのキャリア教育の実践の中心となる教員の育成や支援、また個々の教員へのキャリア教育についての理解を推進するための方策の検討が重要である。

民間スイミングスクールを活用した水泳学習について

- ・民間スイミングスクールの活用により、水泳学習ははじめ校内のプール掃除、水質管理、安全確保等を天候や対応人数に左右され行わなくなり、水泳学習に伴う教員の仕事量・種類とも負担軽減となっている。
- ・スイミングスクールでの指導は複数のインストラクターが関わり、児童へのきめ細かな指導につながっている。

岩崎委員の意見(報告書 P100~101)

全体について(総括的所見)

- ・市民へのサービス向上を目指し、総じて適切、かつ積極的に運営されていることを確認した。
- ・市民のニーズを丁寧にくみ取り、ニーズに応じた事業を実施した後にその充足度などを取り上げるのが評価としての本来の姿と思われる。適切な評価を行う上では、評価指標の妥当性についてのさらなる検討が望まれる。
- ・今後も新しい発想や柔軟な対応に果敢に取り組む文化が醸成され、千葉市の生涯学習事業の多くが全国のモデルとなることを期待する。

千葉市図書館ビジョン2040策定について

- ・このビジョンには、地域の「知的拠点」としての新たな図書館の姿が描かれている。そのコンセプトは、「市民の知的好奇心を刺激し、ワクワクする図書館」というものであり、知をつなげる新たなプラットフォームを構築しようとする千葉市の生涯学習支援に対する意気込みを感じる。
- ・コンセプトを実効性あるものとするためには、千葉市図書館情報ネットワーク協議会などを通じて多様な協働・連携事業が検討され、また中央図書館と生涯学習センターが合築である利点をいかした体系的な事業の企画・実施など、教育的な相乗効果や創発効果を意図したプラットフォームの形成・充実が必要であろう。

令和元年度夏の台風による被害を受けた文化財への対応について

- ・千葉市を襲った台風の被害への対応、木々の害虫被害や間伐の必要性など管理運営上で多くの対応が求められ、またコロナ禍で移動自粛の中で集客がままならず、予定の事業が実施できない状況に苦労されながらも真摯に対応されている。
- ・ホームページを通じ、学術的内容をわかりやすく情報発信する積極的な取組みを行っていることは特記に値する。
- ・博物館、図書館、公民館の連携事業についての具体的な事業提案もあり、また、教育センターとの連携による学校の教員に対する講座提供の検討など、加曾利貝塚博物館という資源の有効活用へのアイデアが多く認められた。

放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業について

- ・共働き家庭が増加する中で、千葉市に子育て世代を呼び込むためには、放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業は、子育て支援として非常に重要な事業である。
- ・人生において、子どもである時期は限られ、その多くの時間を学校で過ごすことから、放課後の時間にあっても、振り返ったときに、懐かしく楽しい思い出となる時間でありうるよう内容の充実について鋭意検討していただきたい。

評価委員の意見に対する対応(報告書 P102~105)

これまでの事務点検・評価において評価委員よりいただいた意見に対する対応状況は右表のとおりです。すべての意見に対し、取組みを実施しています。

| 説明                         | 項目数 |
|----------------------------|-----|
| 意見に対する取組みについて検討し、実施しているもの。 | 10  |
| 意見に対する取組みについて検討しているもの。     | 0   |
| 未対応のもの。                    | 0   |





教育委員会事務点検・評価(抜粋版)

議案第82号関係  
参考資料

1 学校教育分野

(1) 成果指標

※達成状況が「○」「×」となっているものだけを抜粋

【施策1-1】 報告書(案)P7-8

| No. | 指標                         | 項目          | 当初                                                                                                                                                           |                |               | 目標                                                                                                         |      |      | 実績  |          |  |
|-----|----------------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-----|----------|--|
|     |                            |             | H27末                                                                                                                                                         | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                                                       | H29末 | H30末 | R1末 | 達成<br>状況 |  |
| 2   | 全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較 | 小6          | +1.8                                                                                                                                                         | +2.0           | +2.5          | 0                                                                                                          | +1.0 | 0    | 0   | ×        |  |
|     |                            | 中3          | +1.9                                                                                                                                                         | +2.0           | +2.5          | +1.0                                                                                                       | 0    | 0    | 0   | ×        |  |
|     |                            | 全国学力・学習状況調査 |                                                                                                                                                              |                |               |                                                                                                            |      |      |     |          |  |
|     |                            |             | 達成状況に対する説明                                                                                                                                                   |                |               | 今後の取組み等                                                                                                    |      |      |     |          |  |
|     |                            |             | <p>・全国の平均正答率との差はなく、同等です。教科別にみると小学校は国語・算数どちらも全国平均と同値です。中学校では、数学が全国平均を1ポイント下回ったものの、英語は1ポイント上回りました。基礎基本の定着を図るとともに、付けたい力を明確にしたスパイラルな指導の工夫、家庭学習の推進を図る必要があります。</p> |                |               | <p>・本市の課題改善に資するデータと、指導改善の方向性やポイント等を示した授業改善の資料を研修会や学校訪問等で活用します。指導助言を行うことで、教員の指導力を一層高め、「わかる授業」を推進していきます。</p> |      |      |     |          |  |

【施策1-2】 報告書(案)P11-12

| No. | 指標                           | 項目              | 当初                                                                                                                         |                |               | 目標                                                                                                                                      |       |         | 実績    |          |  |
|-----|------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|-------|----------|--|
|     |                              |                 | H27末                                                                                                                       | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                                                                                    | H29末  | H30末    | R1末   | 達成<br>状況 |  |
| 4   | 中学校卒業段階で実用英語技能検定3級相当以上の生徒の割合 | 中3              | 50.0%                                                                                                                      | 55.0%          | 60.0%         | 46.6%                                                                                                                                   | 47.2% | 46.8%   | 44.2% | ×        |  |
|     |                              | 千葉県教育委員会教育指導課調べ |                                                                                                                            |                |               |                                                                                                                                         |       |         |       |          |  |
|     |                              |                 |                                                                                                                            |                | 達成状況に対する説明    |                                                                                                                                         |       | 今後の取組み等 |       |          |  |
|     |                              |                 | <p>・生徒の英語力の向上のため、言語活動を中心とした授業を行っています。<br/>・前年度より数値は下がっていますが、欧米を中心に広く使われている国際標準規格「CEFR A1以上」を取得している生徒の割合は全国平均以上となっています。</p> |                |               | <p>・言語活動の充実とコミュニケーションを図る資質・能力の育成のために、教員とALTとの円滑なチームティーチングを進め、授業の工夫改善を図ります。また、生徒とALTが積極的にコミュニケーションをとる機会を通して、自分の考えや思いを表現する場面を更に増やします。</p> |       |         |       |          |  |

【施策2-1】 報告書(案)P16-17

| No. | 指標             | 項目        | 当初                                                                                                                                                     |                |               | 目標                                                                                                                                                    |       |       | 実績    |          |  |
|-----|----------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|----------|--|
|     |                |           | H27末                                                                                                                                                   | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                                                                                                  | H29末  | H30末  | R1末   | 達成<br>状況 |  |
| 7   | 読書習慣のある児童生徒の割合 | 小3        | 49.5%<br>(26年度末)                                                                                                                                       | 52.0%          | 55.0%         | 53.0%                                                                                                                                                 | 50.4% | 49.4% | 48.7% | ×        |  |
|     |                | 小5        | 45.1%<br>(26年度末)                                                                                                                                       | 49.0%          | 52.5%         | 45.9%                                                                                                                                                 | 48.1% | 44.0% | 44.1% | ×        |  |
|     |                | 千葉市学力状況調査 |                                                                                                                                                        |                |               |                                                                                                                                                       |       |       |       |          |  |
|     |                |           | 達成状況に対する説明                                                                                                                                             |                |               | 今後の取組み等                                                                                                                                               |       |       |       |          |  |
|     |                |           | <p>・本市の読書量調査において、学年別平均読書量は、学年が上がるにつれて減少しています。読書量が減少している要因として、情報機器の利用増加などが考えられます。<br/>・学校図書館指導員の読書指導に併せてボランティアによる読み聞かせ、学校図書館の充実等を積極的に推進していく必要があります。</p> |                |               | <p>・学校図書館主任を対象とした読書活動の推進についての研修を行います。研修を踏まえ各学校で「魅力ある学校図書館運営計画」を立て、教科との関連や公共図書館との連携、蔵書管理、施設・設備の整備など、学校図書館の充実を図ります。また、引き続き、6月下旬から12月まで読書量調査を行う予定です。</p> |       |       |       |          |  |

【施策3-1】

報告書(案)P26-27

| No. | 指標                  | 項目              | 当初                                                                                                                                   | 目標             |               |                                                                                      | 実績    |       |       |          |
|-----|---------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|----------|
|     |                     |                 | H27末                                                                                                                                 | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                                 | H29末  | H30末  | R1末   | 達成<br>状況 |
| 11  | 朝食を必ず食べる<br>児童生徒の割合 | 小               | 90.8%                                                                                                                                | 98.0%          | 100.0%        | 89.6%                                                                                | 90.1% | 89.7% | 90.3% | ×        |
|     |                     | 中               | 87.6%                                                                                                                                | 95.0%          | 100.0%        | 87.1%                                                                                | 87.9% | 86.5% | 87.3% | ×        |
|     |                     | 千葉市教育委員会保健体育課調べ |                                                                                                                                      |                |               |                                                                                      |       |       |       |          |
|     |                     |                 | 達成状況に対する説明                                                                                                                           |                |               | 今後の取組み等                                                                              |       |       |       |          |
|     |                     |                 | <p>・平成29、30年度に実施した栄養教諭による「朝食」をテーマにしたモデル授業や研修を通して、朝食の重要性への意識は高まっていますが、目標の達成には至りませんでした。週1～3日食べない児童生徒が9%いるため、家庭との連携をさらに深めた取組みが必要です。</p> |                |               | <p>・学校ごとに、生活リズムと関連させた指導を学校教育全体で継続して行い、家庭との連携を密にし、朝食を毎日食べる児童生徒を育てられるように取り組んでいきます。</p> |       |       |       |          |

【施策3-2】

報告書(案)P30-31

| No. | 指標                                                          | 項目                | 当初                                                                                                                                                                | 目標             |               |                                                                                                                                                                                        | 実績     |        |        |          |
|-----|-------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|----------|
|     |                                                             |                   | H27末                                                                                                                                                              | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                                                                                                                                   | H29末   | H30末   | R1末    | 達成<br>状況 |
| 13  | 全国体力・運動能力、<br>運動習慣等調査において、各学<br>年・男女別・種目で<br>全国平均を上回る<br>割合 | 小男子               | 81.2%                                                                                                                                                             | 91.6%          | 95.8%         | 70.8%                                                                                                                                                                                  | 75.0%  | 75.0%  | 75.0%  | ×        |
|     |                                                             | 小女子               | 93.7%                                                                                                                                                             | 97.9%          | 100.0%        | 91.7%                                                                                                                                                                                  | 75.0%  | 75.0%  | 62.5%  | ×        |
|     |                                                             | 中男子               | 58.3%                                                                                                                                                             | 66.6%          | 75.0%         | 37.5%                                                                                                                                                                                  | 87.5%  | 87.5%  | 87.5%  | ◎        |
|     |                                                             | 中女子               | 58.3%                                                                                                                                                             | 79.1%          | 87.5%         | 75.0%                                                                                                                                                                                  | 100.0% | 100.0% | 100.0% | ◎        |
|     |                                                             | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 |                                                                                                                                                                   |                |               |                                                                                                                                                                                        |        |        |        |          |
|     |                                                             |                   | 達成状況に対する説明                                                                                                                                                        |                |               | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                |        |        |        |          |
|     |                                                             |                   | <p>・全種目の合計では、小中学校男女のすべてにおいて、全国平均を上回っています。<br/>・種目ごとでは、中学校女子においては、すべての種目で全国平均を上回っています。小学校男女の握力とソフトボール投げ、小学校女子の20mシャトルラン、中学校男子の握力は全国平均を下回りましたが、その他の種目では上回っています。</p> |                |               | <p>・各学校の体力向上の取組みをさらに充実させるため、教科主任を対象とした研修会等で、各学校の具体的な取組みを紹介し、特に小学校のソフトボール投げについては、学習指導要領の改訂により、陸上運動系の学習の中で、遠投能力の向上を意図して「投の運動(遊び)」を加えて指導できるようになったことから、体育学習における投げ方の技能向上を目指した指導を取り上げます。</p> |        |        |        |          |
| 14  | 1週間の総運動時<br>間が60分以上の割<br>合                                  | 小5男子              | 94.6%                                                                                                                                                             | 95.6%          | 96.7%         | 94.6%                                                                                                                                                                                  | 93.8%  | 93.6%  | 92.9%  | ×        |
|     |                                                             | 小5女子              | 89.6%                                                                                                                                                             | 91.8%          | 94.5%         | 90.3%                                                                                                                                                                                  | 89.6%  | 87.6%  | 87.7%  | ×        |
|     |                                                             | 中2男子              | 91.6%                                                                                                                                                             | 92.0%          | 92.7%         | 92.7%                                                                                                                                                                                  | 93.0%  | 93.3%  | 92.9%  | ◎        |
|     |                                                             | 中2女子              | 80.5%                                                                                                                                                             | 81.7%          | 84.5%         | 80.6%                                                                                                                                                                                  | 82.5%  | 80.2%  | 79.7%  | ×        |
|     |                                                             | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 |                                                                                                                                                                   |                |               |                                                                                                                                                                                        |        |        |        |          |
|     |                                                             |                   | 達成状況に対する説明                                                                                                                                                        |                |               | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                |        |        |        |          |
|     |                                                             |                   | <p>・小学校女子以外は前年度を下回りました。<br/>・全国平均と比較すると、小学校は男女ともに上回り、中学校男子は同率、女子は下回っています。また、小中学校ともに、女子よりも男子の方がその割合は高くなっています。これは全国的な傾向となっています。</p>                                 |                |               | <p>・女子児童生徒や、運動をあまり好まない児童生徒が興味をもって楽しく運動に取り組めるように、体育・保健体育の学習を工夫・改善するとともに、運動機会の設定などを検討していきます。</p>                                                                                         |        |        |        |          |

【施策4-1】 報告書(案)P34-35

| No. | 指標                         | 項目                                                     | 当初                 |                |               | 目標      |                                                     |         | 実績      |          |  |
|-----|----------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------|----------------|---------------|---------|-----------------------------------------------------|---------|---------|----------|--|
|     |                            |                                                        | H27末               | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末    | H29末                                                | H30末    | R1末     | 達成<br>状況 |  |
| 16  | 学校セーフティ<br>ウォッチャーの登録<br>者数 |                                                        | 26,855人<br>(26年度末) | 30,000人        | 30,000人       | 26,469人 | 25,800人                                             | 26,265人 | 25,149人 | ×        |  |
|     |                            | 千葉市教育委員会学事課調べ                                          |                    |                |               |         |                                                     |         |         |          |  |
|     |                            | 達成状況に対する説明                                             |                    |                |               |         | 今後の取組み等                                             |         |         |          |  |
|     |                            | ・登録者の増加には至っていませんが、保護者・地域協力者の協力により、各学校区で安全な登下校が行われています。 |                    |                |               |         | ・保護者会や地域の団体に参加を呼び掛けるなど、セーフティウォッチャーを増やす取組みを継続していきます。 |         |         |          |  |

【施策6-2】 報告書(案)P52-53

| No.                                                                                                                                                                         | 指標                           | 項目              | 当初               |                |                                                                                                                                                                   | 目標               |                  |                  | 実績               |          |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-----------------|------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------|--|
|                                                                                                                                                                             |                              |                 | H27末             | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標)                                                                                                                                                     | H28末             | H29末             | H30末             | R1末              | 達成<br>状況 |  |
| 23                                                                                                                                                                          | 全児童生徒数に対<br>する不登校児童生<br>徒の割合 | 小               | 0.46%<br>(26年度末) | 0.40%          | 0.35%                                                                                                                                                             | 0.49%<br>(27年度末) | 0.52%<br>(28年度末) | 0.57%<br>(29年度末) | 0.70%<br>(30年度末) | ×        |  |
|                                                                                                                                                                             |                              | 中               | 2.38%<br>(26年度末) | 2.25%          | 2.20%                                                                                                                                                             | 2.49%<br>(27年度末) | 2.67%<br>(28年度末) | 3.05%<br>(29年度末) | 3.42%<br>(30年度末) | ×        |  |
|                                                                                                                                                                             |                              | 千葉市教育委員会教育支援課調べ |                  |                |                                                                                                                                                                   |                  |                  |                  |                  |          |  |
|                                                                                                                                                                             |                              | 達成状況に対する説明      |                  |                |                                                                                                                                                                   |                  | 今後の取組み等          |                  |                  |          |  |
| 24                                                                                                                                                                          | いじめ解消率                       | 小               | 82.2%<br>(26年度末) | 86.0%          | 90.0%                                                                                                                                                             | 87.9%<br>(27年度末) | 89.2%<br>(28年度末) | 68.9%<br>(29年度末) | 62.3%<br>(30年度末) | ×        |  |
|                                                                                                                                                                             |                              | 中               | 80.3%<br>(26年度末) | 84.0%          | 87.0%                                                                                                                                                             | 89.6%<br>(27年度末) | 91.7%<br>(28年度末) | 81.8%<br>(29年度末) | 66.7%<br>(30年度末) | ×        |  |
|                                                                                                                                                                             |                              | 千葉市教育委員会教育支援課調べ |                  |                |                                                                                                                                                                   |                  |                  |                  |                  |          |  |
|                                                                                                                                                                             |                              | 達成状況に対する説明      |                  |                |                                                                                                                                                                   |                  | 今後の取組み等          |                  |                  |          |  |
| ・国のいじめ防止基本方針の改定(平成29年度末)に伴い、「いじめが解消している」と判断される条件として「3カ月の見守りが必要である」等に変更されたため、解消率が低下しました。また、いじめに対する正しい理解が進んだことで、いじめ認知件数が増加する反面、安易にいじめを解消したと判断せず、丁寧な見守りをしているため解消率が低下したと考えています。 |                              |                 |                  |                | ・早い段階でいじめを認知する、いじめの積極的な認知が浸透したため、認知件数が増加していることは評価できることです。今後は、初期対応を丁寧にする事で、いじめの早期解消にさらに努める必要があります。生徒指導調査研究委員会の報告書「いじめの積極的な認知とその対応」の積極的な周知や学校からの要請に応じた校内研修の推進に努めます。 |                  |                  |                  |                  |          |  |

【施策6-3】 報告書(案)P56-57

| No.                                                                                                      | 指標                                       | 項目              | 当初               |                |                                                                                     | 目標    |         |       | 実績   |          |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------|------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|-------|------|----------|--|
|                                                                                                          |                                          |                 | H27末             | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標)                                                                       | H28末  | H29末    | H30末  | R1末  | 達成<br>状況 |  |
| 26                                                                                                       | 日本語指導が必要な<br>帰国・外国人生徒<br>で指導を受けて<br>いる割合 | 小               | 90.5%<br>(26年度末) | 91.0%          | 92.0%                                                                               | 90.8% | 91.4%   | 91.9% | 100% | ◎        |  |
|                                                                                                          |                                          | 中               | 93.4%<br>(26年度末) | 94.0%          | 95.0%                                                                               | 93.7% | 98.5%   | 98.5% | 100% | ◎        |  |
|                                                                                                          |                                          | 千葉市教育委員会教育指導課調べ |                  |                |                                                                                     |       |         |       |      |          |  |
|                                                                                                          |                                          | 達成状況に対する説明      |                  |                |                                                                                     |       | 今後の取組み等 |       |      |          |  |
| ・日本語指導が必要な帰国・外国人生徒の人数は前年度とほぼ同数ですが、ボランティア等の協力により、要請のあった児童生徒全員に対応しました。<br>・一方で、指導時間数の確保や、多様化する母語への対応が課題です。 |                                          |                 |                  |                | ・日本語指導が必要な児童生徒の増加や、母語の多様化に対して、きめ細かな支援ができるよう、大学やNPO団体との連携を強化します。また、自動翻訳機の活用効果を検証します。 |       |         |       |      |          |  |

## (2)アクションプラン

※進捗状況が「達成」「遅れ」となっているものだけを抜粋

### 【施策1-1】 報告書(案)P9-10

| No.                                                                                                                                                                                                                                         | 事業名                  | 新規・拡充項目<br>継続    | 当初                                                                                     |                             |                                       | 目標                             |                                |                                | 実績                           |          |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|----------|--|
|                                                                                                                                                                                                                                             |                      |                  | H27末                                                                                   | H30末<br>(中間目標)              | R3末<br>(最終目標)                         | H28末                           | H29末                           | H30末                           | R1末                          | 達成<br>状況 |  |
| 6                                                                                                                                                                                                                                           | 情報教育<br>機器の整<br>備・充実 | 小学校PC教室の<br>端末刷新 | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校                                                           | 全校<br>40台/校<br>(移動型端<br>末)  | 全校、<br>40台/校<br>(移動型端<br>末)           | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校   | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校   | 106校<br>20台/校<br>6校<br>40台/校   | 110校<br>(学級人数<br>最大値で配<br>備) | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                             |                      | タブレットPCの整<br>備   | モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台                                                           | モデル校<br>増設<br>(6年生1人<br>1台) | モデル校等<br>での成果を<br>踏まえ、見<br>直し時に設<br>定 | 継続モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台 | 継続モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台 | 継続モデル校<br>40台<br>教育センター<br>40台 | 全小中学校<br>規模別に11<br>台から80台    | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                             |                      | 主な成果と考察          |                                                                                        |                             | 今後の取組み等                               |                                |                                |                                |                              |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次CABINETの更新により、小中学校への機器の配備を終えました。端末は、各学校の最も多い児童生徒数の学級の人数に応じた台数を配置し、どの学級でも使用できるようにしました。</li> <li>・タブレットの配備により、各教室や特別教室での利用が可能になりました。</li> <li>・学校インターネット回線を引くことで、今までより高速回線の利用が可能になりました。</li> </ul> |                      |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一台の配備となっていないため、今後、台数の増加を進めます。</li> </ul> |                             |                                       |                                |                                |                                |                              |          |  |

### 【施策1-2】 報告書(案)P13-15

| No.                                                                                                                                                                                                                                                                           | 事業名                                  | 新規・拡充項目<br>継続    | 当初                                                                                                                                                                                                              |                |               | 目標   |      |      | 実績   |          |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|------|------|------|------|----------|--|
|                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                      |                  | H27末                                                                                                                                                                                                            | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末 | H29末 | H30末 | R1末  | 達成<br>状況 |  |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                             | 小学校英<br>語活動・英<br>語教育の<br>推進          | 外国語指導助手<br>の配置拡充 | -                                                                                                                                                                                                               | -              | 50人           | -    | -    | 38人  | 38人  | 遅れ       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                      | 英語教育支援員<br>の配置   | -                                                                                                                                                                                                               | -              | 12人           | -    | -    | 12人  | 12人  | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                      | 英語免許保有者<br>の増員   | -                                                                                                                                                                                                               | -              | 175人          | -    | -    | 102人 | 101人 | 遅れ       |  |
| 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                      |                  | 今後の取組み等                                                                                                                                                                                                         |                |               |      |      |      |      |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手については、各学年の授業を概ね予定通り実施できました。</li> <li>・英語教育支援員を12人配置し、各担当校での指導・助言に当たりました。</li> <li>・英語免許保有者は、約10人の新規取得者と免許保有退職者がいたため、1人減となりました。過去には、千葉大学での免許法認定講習の単位を期間内に切り切れず、免許取得を断念する教員がいたため、必要単位数やスケジュールなど見直しをもって受講してもらう必要があります。</li> </ul> |                                      |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手は、打合せ時間の確保が課題となっているため、派遣時間拡充に向けて取組みを進めています。</li> <li>・英語教育支援員は、高学年の評価などについて、重点的に指導・助言します。</li> <li>・免許法認定講習の受講スケジュールなどに関する免許取得者からのアドバイスを添えて、案内・募集します。</li> </ul> |                |               |      |      |      |      |          |  |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                             | 市立高等<br>学校のグ<br>ローバル<br>スクール<br>化の推進 | 外国語補助教員<br>の増員   | -                                                                                                                                                                                                               | -              | 3人            | -    | -    | 2人   | 3人   | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                      | 主な成果と考察          |                                                                                                                                                                                                                 |                | 今後の取組み等       |      |      |      |      |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語補助教員を1名増員し、目標を達成しました。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                   |                                      |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語補助教員を活用し、グローバルリーダーの育成を図ります。</li> </ul>                                                                                                                               |                |               |      |      |      |      |          |  |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                             | 未来の科<br>学者育成<br>プログラム                | ジュニア講座受講<br>者    | 5・6年生<br>実施                                                                                                                                                                                                     | 80人            | 100人          | 66人  | 42人  | 71人  | 159人 | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                      | 主な成果と考察          |                                                                                                                                                                                                                 |                | 今後の取組み等       |      |      |      |      |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア講座は電子申請のほか、平成30年度の秋より市内公立小学校5・6年生全員にチラシを配付したことにより、定員を上回る応募が続き、受講者は159人となりました。</li> </ul>                                                                                                                                          |                                      |                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア講座では、昨年度同様市内公立小学校5・6年生全員に個別にチラシを配付し、電子申請でも受け付けます。</li> </ul>                                                                                                        |                |               |      |      |      |      |          |  |

【施策2-1】 報告書(案)P18-20

| No. | 事業名       | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初                                                                         | 目標             |                     | 実績                                                                                        |      |                     |                     | 達成<br>状況 |
|-----|-----------|---------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------|---------------------|----------|
|     |           |               | H27末                                                                       | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標)       | H28末                                                                                      | H29末 | H30末                | R1末                 |          |
| 7   | オリパラ教育の推進 | パラスポーツ授業の実施   | -                                                                          | -              | 166校<br>(全小・中学校で実施) | -                                                                                         | 12校  | 166校<br>(全小・中学校で実施) | 166校<br>(全小・中学校で実施) | 達成       |
|     |           |               | 主な成果と考察                                                                    |                |                     | 今後の取組み等                                                                                   |      |                     |                     |          |
|     |           |               | ・体育・保健体育の授業において、すべての小学校でゴールボール及びシッティングバレーボールを、すべての中学校でシッティングバレーボールを実施しました。 |                |                     | ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は延期となりましたが、児童生徒の安全に配慮しながら、引き続き、オリパラ教育を継続します。 |      |                     |                     |          |

【施策2-2】 報告書(案)P23-25

| No. | 事業名             | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初                                                       | 目標             |               | 実績                                                                                  |      |      |     | 達成<br>状況 |
|-----|-----------------|---------------|----------------------------------------------------------|----------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-----|----------|
|     |                 |               | H27末                                                     | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                                | H29末 | H30末 | R1末 |          |
| 6   | 小・中学生の社会参画意識の育成 | 小学校模擬選挙       | 16校                                                      | 18校            | 18校           | 16校                                                                                 | 18校  | 19校  | 21校 | 達成       |
|     |                 |               | 主な成果と考察                                                  |                |               | 今後の取組み等                                                                             |      |      |     |          |
|     |                 |               | ・選挙管理委員会と千葉県弁護士会・市内大学との連携により21校で模擬選挙を実施し、主権者教育の充実を図りました。 |                |               | ・引き続き、選挙管理委員会と千葉県弁護士会・市内大学と連携した模擬選挙を実施するとともに、関係機関と連携しながら小・中それぞれの段階で政治意識の醸成を図っていきます。 |      |      |     |          |

【施策3-1】 報告書(案)P28-29

| No. | 事業名              | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初                                                     | 目標             |               | 実績                       |      |      |      | 達成<br>状況 |
|-----|------------------|---------------|--------------------------------------------------------|----------------|---------------|--------------------------|------|------|------|----------|
|     |                  |               | H27末                                                   | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                     | H29末 | H30末 | R1末  |          |
| 4   | こてはし学校給食センターの再整備 | 継続            | 継続                                                     | 継続             | 継続            | 継続                       | 供用開始 | 継続稼働 | 継続稼働 | 達成       |
|     |                  |               | 主な成果と考察                                                |                |               | 今後の取組み等                  |      |      |      |          |
|     |                  |               | ・平成29年4月に供用を開始し、令和元年度については、花見川区を中心とした中学校14校に給食を提供しました。 |                |               | ・安全安心な学校給食を安定的に提供していきます。 |      |      |      |          |

【施策3-2】 報告書(案)P32-33

| No. | 事業名              | 新規・拡充項目<br>継続                                                                                                                       | 当初                                                                                                                                                                                                                        |                     |                                                                                                                                              | 目標                                                                                                                                   |                                               |           | 実績         |          |  |
|-----|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------|------------|----------|--|
|     |                  |                                                                                                                                     | H27末                                                                                                                                                                                                                      | H30末<br>(中間目標)      | R3末<br>(最終目標)                                                                                                                                | H28末                                                                                                                                 | H29末                                          | H30末      | R1末        | 達成<br>状況 |  |
| 1   | 運動習慣を身に付けるための取組み | 運動習慣定着に向けた取組み                                                                                                                       | 各学校で独自の取組みを実施                                                                                                                                                                                                             | ワーキンググループ設置・検討モデル実施 | 全校実施                                                                                                                                         | 体育・保健体育におけるオリパラ教育検討委員会の設置について検討し、各学校で独自の取組みを実施                                                                                       | 体育・保健体育におけるオリパラ教育検討委員会の設置モデル校(小中各7校)でモデル授業を実施 | 全校実施      | 全校実施       | 達成       |  |
|     |                  |                                                                                                                                     | <b>主な成果と考察</b><br>・前年度に引き続き、市立全小中学校の体育・保健体育の授業において、パラスポーツを実践しました。<br>・より充実した授業ができるように、パラスポーツ実践モデル校での授業、教員を対象とした実技研修等も実施しました。<br>・児童の泳力向上、教員の負担軽減及び学校プール施設の維持管理費削減などの効果を検証するため、小学校2校において民間のスイミングスクールを活用した水泳学習をモデル的に実施しました。 |                     |                                                                                                                                              | <b>今後の取組み等</b><br>・東京2020オリンピック・パラリンピック終了後も、市立全小中学校の体育・保健体育の授業において、パラスポーツを実施します。<br>・民間のスイミングスクールの活用については、前年度の検証結果をもとに事業拡大について検討します。 |                                               |           |            |          |  |
| 2   | アスリート交流事業        | 小学校における障害者アスリートとの交流                                                                                                                 | 実施率：6%                                                                                                                                                                                                                    | 延べ実施率：50%           | 延べ実施率：100%                                                                                                                                   | 延べ実施率：22%                                                                                                                            | 延べ実施率：36%                                     | 延べ実施率：72% | 延べ実施率：100% | 達成       |  |
|     |                  | 千葉ロッテマリーンズベースボールチャレンジ                                                                                                               | 年間：20校                                                                                                                                                                                                                    | 年間：23校              | 年間：26校                                                                                                                                       | 年間：15校                                                                                                                               | 年間：15校                                        | 年間：20校    | 年間：26校     | 達成       |  |
|     |                  | ジェフユナイテッド市原・千葉おとどけ隊                                                                                                                 | 年間：93校                                                                                                                                                                                                                    | 年間：94校              | 年間：95校                                                                                                                                       | 年間：94校                                                                                                                               | 年間：94校                                        | 年間：92校    | 年間：95校     | 達成       |  |
|     |                  | <b>主な成果と考察</b><br>・「障害者アスリートとの交流」については、順調に実施校を拡大し、全校への訪問を達成しました。「ベースボールチャレンジ」と「おとどけ隊」についても、マリーンズやジェフと、学校との日程調整の結果、訪問校数を増やすことができました。 |                                                                                                                                                                                                                           |                     | <b>今後の取組み等</b><br>・「障害者アスリートとの交流」については、2巡目の訪問計画を検討していきます。「ベースボールチャレンジ」及び「おとどけ隊」については、関係機関にさらに実施校を増やすよう働きかけていくとともに、それぞれとの連絡・調整をより一層密に行っていきます。 |                                                                                                                                      |                                               |           |            |          |  |

【施策4-1】 報告書(案)P36-37

| No. | 事業名           | 新規・拡充項目<br>継続          | 当初                                                                                                    |                |               | 目標                                                                                                        |       |       | 実績    |          |  |
|-----|---------------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|----------|--|
|     |               |                        | H27末                                                                                                  | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                                                      | H29末  | H30末  | R1末   | 達成<br>状況 |  |
| 2   | 学校防犯対策の推進     | 学校防犯カメラシステムの設置         | 37.4%                                                                                                 | 56.1%          | 65.0%         | 39.2%                                                                                                     | 41.5% | 46.8% | 52.6% | 遅れ       |  |
|     |               |                        | <b>主な成果と考察</b><br>・進捗状況では遅れとなっていますが、10校での設置が完了しており、最終目標に向けて順調に進んでいます。                                 |                |               | <b>今後の取組み等</b><br>・第3次実施計画に基づき、年10校ずつ設置していく予定です。                                                          |       |       |       |          |  |
| 5   | 学校安全に関する教育の充実 | 小・中学校におけるブラインド型避難訓練の実施 | 63.0%                                                                                                 | 72.0%          | 80.0%         | 67.7%                                                                                                     | 69.7% | 71.1% | 71.5% | 遅れ       |  |
|     |               |                        | <b>主な成果と考察</b><br>・安全指導主任会でブラインド型避難訓練の内容や意義等を説明することで、実施率は高くなりましたが、目標値とは差があるため、今後も積極的に周知し、実施率の向上を図ります。 |                |               | <b>今後の取組み等</b><br>・引き続き、研修会で状況に応じた判断をする教育の必要性や、その一環としてブラインド型訓練があることを示します。また、実施していない学校へ個別に連絡をし、実施率向上に努めます。 |       |       |       |          |  |

【施策4-2】 報告書(案)P39-40

| No. | 事業名                   | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初             |                                     |                                    | 目標                              |                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 実績                                 |          |  |  |
|-----|-----------------------|---------------|----------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|----------|--|--|
|     |                       |               | H27末           | H30末<br>(中間目標)                      | R3末<br>(最終目標)                      | H28末                            | H29末                             | H30末                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | R1末                                | 達成<br>状況 |  |  |
| 1   | 学校施設の<br>環境整備(質的整備)   | トイレ改修         | —              | 34.4%                               | 66.6%                              | 3.4%                            | 14.9%                            | 26.0%                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 31.7%                              | 遅れ       |  |  |
|     |                       | 音楽室等エアコン整備    | —              | 小学校 64.3%<br>中学校 100%<br>特別支援学校100% | 小学校 100%<br>中学校 100%<br>特別支援学校100% | 小学校 0%<br>中学校 50%<br>特別支援学校100% | 小学校 0%<br>中学校 100%<br>特別支援学校100% | 小学校 26.1%<br>中学校 100%<br>特別支援学校100%                                                                                                                                                                                                                                                                          | 小学校 100%<br>中学校 100%<br>特別支援学校100% | 達成       |  |  |
|     |                       | 主な成果と考察       |                |                                     | 今後の取組み等                            |                                 |                                  | <p>・毎年約10校のトイレ改修を行っています。進捗状況は遅れています。引き続き、トイレのドライ化と洋便器化を推進します。</p> <p>・音楽室等エアコン整備は、令和2年3月末に設置が完了いたしました。</p> <p>・第3次実施計画に基づき、毎年約10校でトイレ改修を実施し、令和8年度までに全校改修済となる予定です。最終目標に対しては順調に進捗しています。</p>                                                                                                                    |                                    |          |  |  |
| 3   | 学校適正<br>配置に伴う<br>施設改修 | 統合に伴う施設改修     | 10校            | 14校                                 | 13校                                | 11校<br>78.57%                   | 11校<br>78.57%                    | 11校<br>78.57%                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 11校<br>78.57%                      | 遅れ       |  |  |
|     |                       | 主な成果と考察       |                |                                     | 今後の取組み等                            |                                 |                                  | <p>・令和元年度末時点では遅れとなっていますが、適正配置に関する地元代表協議会から要望された統合時期での開校に向け順調に進んでいます。</p> <p>・令和2年度末までに千城台地区2校、大宮地区1校、高洲地区1校の施設改修が完了する予定です。</p>                                                                                                                                                                               |                                    |          |  |  |
|     |                       | 主な成果と考察       |                |                                     | 今後の取組み等                            |                                 |                                  | <p>・これまでの研究成果と実践を踏まえ、平成31年4月に川戸小・中学校を小中一貫教育モデル校として設置しました。</p> <p>・千葉市の小中一貫教育基本方針に基づき、連携校6校でランドデザインを作成し、小中一貫教育の進展のための具体的な実践計画を立てました。</p> <p>・令和2年4月から川戸小・中学校を小中一貫教育校に位置付けました。</p> <p>・小中一貫教育校およびモデル校の運用状況や課題を把握するとともに改善に向けた助言を行います。</p> <p>・令和3年4月に、幸町第三小学校・幸町第二中学校及び更科小・中学校を小中一貫教育校としてスタートさせるための準備を進めます。</p> |                                    |          |  |  |
| 5   | 小中一貫<br>教育の推<br>進     | 小中一貫教育のモデル事業  | 研究指定<br>(小中連携) | 研究指定<br>(小中連携)                      | 小中一貫教育モデル校<br>の設置                  | 継続                              | 継続                               | 継続                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 小中一貫教育<br>モデル校<br>の設置              | 達成       |  |  |
|     |                       | 主な成果と考察       |                |                                     | 今後の取組み等                            |                                 |                                  | <p>・令和2年4月から川戸小・中学校を小中一貫教育校に位置付けました。</p> <p>・小中一貫教育校およびモデル校の運用状況や課題を把握するとともに改善に向けた助言を行います。</p> <p>・令和3年4月に、幸町第三小学校・幸町第二中学校及び更科小・中学校を小中一貫教育校としてスタートさせるための準備を進めます。</p>                                                                                                                                         |                                    |          |  |  |
|     |                       | 主な成果と考察       |                |                                     | 今後の取組み等                            |                                 |                                  | <p>・これまでの研究成果と実践を踏まえ、平成31年4月に川戸小・中学校を小中一貫教育モデル校として設置しました。</p> <p>・千葉市の小中一貫教育基本方針に基づき、連携校6校でランドデザインを作成し、小中一貫教育の進展のための具体的な実践計画を立てました。</p> <p>・令和2年4月から川戸小・中学校を小中一貫教育校に位置付けました。</p> <p>・小中一貫教育校およびモデル校の運用状況や課題を把握するとともに改善に向けた助言を行います。</p> <p>・令和3年4月に、幸町第三小学校・幸町第二中学校及び更科小・中学校を小中一貫教育校としてスタートさせるための準備を進めます。</p> |                                    |          |  |  |

【施策5-1】 報告書(案)P43-44

| No. | 事業名                 | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初              |                 |                 | 目標              |                 |                                                                                                                                                    | 実績              |          |  |  |
|-----|---------------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------|--|--|
|     |                     |               | H27末            | H30末<br>(中間目標)  | R3末<br>(最終目標)   | H28末            | H29末            | H30末                                                                                                                                               | R1末             | 達成<br>状況 |  |  |
| 2   | 特別支援<br>教育研修<br>の充実 | 特別支援教育研修の実施   | 受講者<br>1,527人/年 | 受講者<br>1,670人/年 | 受講者<br>1,820人/年 | 受講者<br>2,111人/年 | 受講者<br>2,132人/年 | 受講者<br>2,005人/年                                                                                                                                    | 受講者<br>2,165人/年 | 達成       |  |  |
|     |                     | 主な成果と考察       |                 |                 | 今後の取組み等         |                 |                 | <p>・研修受講者は2,165人となり、最終目標を上回りました。特別支援教育について学ぶ機会のニーズがより高まっています。</p> <p>・アンケートの分析などにより、受講者のニーズに沿った研修テーマを設定するとともに、参加しやすい日程調整を行うことにより、受講者数の増加を図ります。</p> |                 |          |  |  |
|     |                     | 主な成果と考察       |                 |                 | 今後の取組み等         |                 |                 | <p>・研修受講者は2,165人となり、最終目標を上回りました。特別支援教育について学ぶ機会のニーズがより高まっています。</p> <p>・アンケートの分析などにより、受講者のニーズに沿った研修テーマを設定するとともに、参加しやすい日程調整を行うことにより、受講者数の増加を図ります。</p> |                 |          |  |  |

【施策5-2】 報告書(案)P46-47

| No. | 事業名                                                  | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初   |                |               | 目標   |      |                                                                                                                                                                                                                               | 実績  |          |  |  |
|-----|------------------------------------------------------|---------------|------|----------------|---------------|------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------|--|--|
|     |                                                      |               | H27末 | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末 | H29末 | H30末                                                                                                                                                                                                                          | R1末 | 達成<br>状況 |  |  |
| 4   | 学校給食<br>費の公会<br>計化と「公<br>金・準公金<br>管理シス<br>テム」の整<br>備 | 管理システムの整備     | 検討   | 運用             | 運用            | 検討   | 検討   | 運用                                                                                                                                                                                                                            | 運用  | 達成       |  |  |
|     |                                                      | 主な成果と考察       |      |                | 今後の取組み等       |      |      | <p>・平成30年4月から運用を開始しました。</p> <p>・学校給食費(公金)と学校徴収金(準公金)を一括徴収・管理することで、保護者の負担軽減と利便性の向上に寄与しています。また、学校においては、事務処理方法の統一化が図られ、指導業務時間の確保につながっています。</p> <p>・制度の適切な運用のため、システムの改修や管理職に対する研修を実施します。</p> <p>・学校給食費については、徴収対策のさらなる強化を図ります。</p> |     |          |  |  |
|     |                                                      | 主な成果と考察       |      |                | 今後の取組み等       |      |      | <p>・平成30年4月から運用を開始しました。</p> <p>・学校給食費(公金)と学校徴収金(準公金)を一括徴収・管理することで、保護者の負担軽減と利便性の向上に寄与しています。また、学校においては、事務処理方法の統一化が図られ、指導業務時間の確保につながっています。</p> <p>・制度の適切な運用のため、システムの改修や管理職に対する研修を実施します。</p> <p>・学校給食費については、徴収対策のさらなる強化を図ります。</p> |     |          |  |  |

【施策6-1】 報告書(案)P50-51

| No.                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事業名              | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |               | 目標   |      |      | 実績  |          |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|------|------|------|-----|----------|--|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                  |               | H27末                                                                                                                                                                                                                                                                         | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末 | H29末 | H30末 | R1末 | 達成<br>状況 |  |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 特別支援教育のサポート体制の整備 | 特別支援教育指導員     | 35人                                                                                                                                                                                                                                                                          | 40人            | 40人           | 35人  | 35人  | 40人  | 40人 | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                  | 特別支援教育介助員     | 5人                                                                                                                                                                                                                                                                           | 15人            | 15人           | 5人   | 5人   | 10人  | 10人 | 遅れ       |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                  | 主な成果と考察       |                                                                                                                                                                                                                                                                              |                | 今後の取組み等       |      |      |      |     |          |  |
| <p>・特別支援教育指導員を40人配置し、配置対象児童生徒全員の指導計画を作成しました。適切な支援を行うことにより、学習態度や対人関係の改善、社会性の向上がみられました。また、個別の教育支援計画を作成することで、支援体制の継続を図っています。</p> <p>・対象となる児童生徒17校18名に特別支援教育介助員10人を派遣し、支援を行いました。進捗状況では「遅れ」となっていますが、対象児童生徒には十分対応できており、保護者・教員からは高い満足度を得ています。対象児童生徒の自立に向け、どこまで介助を行うべきか、担任との連携の仕方などについて整理していく必要があります。</p> |                  |               | <p>・指導員配置数(40人)を超える配置希望があるため、増員を検討するとともに、すべての希望校に学校訪問相談員または指導主事を派遣し、本人及び校内支援体制の把握を行います。未配置校についても、訪問要請や教員に対する相談、各種研修等により、必要な指導・助言を行います。</p> <p>・対象児童生徒の障害が多岐にわたっているため、状況を正確に把握し、増員を含め児童生徒に応じた適切な支援をしていきます。また、本事業の目標である「自立」に向け、学校・保護者・介助員・行政が連携を密にし、望ましい方法を検討しながら支援していきます。</p> |                |               |      |      |      |     |          |  |

【施策6-2】 報告書(案)P54-55

| No.                                                                                                                                                      | 事業名           | 新規・拡充項目<br>継続       | 当初                                                                                                                                                        |                 |                 | 目標                     |                    |                     | 実績                  |          |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|--------------------|---------------------|---------------------|----------|--|
|                                                                                                                                                          |               |                     | H27末                                                                                                                                                      | H30末<br>(中間目標)  | R3末<br>(最終目標)   | H28末                   | H29末               | H30末                | R1末                 | 達成<br>状況 |  |
| 2                                                                                                                                                        | スクールカウンセラーの活用 | 小学校に配置              | 7校配置<br>12校巡回                                                                                                                                             | 10校配置<br>20校巡回  | 10校配置<br>20校巡回  | 6校配置<br>12校巡回          | 10校配置<br>30校巡回     | 12校配置<br>60校巡回      | 全校配置<br>(111校)      | 達成       |  |
|                                                                                                                                                          |               | スーパーバイザーの配置         | 3人                                                                                                                                                        | 4人              | 4人              | 4人                     | 4人                 | 4人                  | 4人                  | 達成       |  |
|                                                                                                                                                          |               | 主な成果と考察             |                                                                                                                                                           |                 | 今後の取組み等         |                        |                    |                     |                     |          |  |
| <p>・小学校スクールカウンセラーを全校に配置し、児童の心のケアをすることで、不登校やいじめなどの未然防止や早期発見、早期解決を図りました。</p> <p>・緊急時対応及びスクールカウンセラーからの相談対応のため、統括スーパーバイザーを1人、スーパーバイザーを3人配置して相談体制を強化しました。</p> |               |                     | <p>・令和2年度より、全小・中・特別支援学校に加え、全高等学校にもスクールカウンセラーを配置します。また、モデル校を設置し、効果の検証を行うとともに、配置時間の増加を検討します。</p> <p>・引き続きスーパーバイザー4名を配置し、スクールカウンセラーと連携しながら支援や助言を行っていきます。</p> |                 |                 |                        |                    |                     |                     |          |  |
| 4                                                                                                                                                        | 適応指導教室の設置及び運営 | 適応指導教室(ライトポート)の設置運営 | 5カ所運営                                                                                                                                                     | 6カ所運営<br>(各区設置) | 6カ所運営<br>(各区設置) | LP稲毛の改修工事と備品消耗品購入を行った。 | LP稲毛を開所し、順調に運営できた。 | 全行政区の計6カ所を順調に運営できた。 | 全行政区の計6カ所を順調に運営できた。 | 達成       |  |
|                                                                                                                                                          |               | 主な成果と考察             |                                                                                                                                                           |                 | 今後の取組み等         |                        |                    |                     |                     |          |  |
| <p>・すべての行政区にライトポート(LP)が設置され、学校生活への復帰や社会的自立を目指す居場所としての機能を果たしています。</p>                                                                                     |               |                     | <p>・全てのLPで児童生徒数が20名を大きく超えています。適切な規模で適応指導ができるよう、LPの管理・運営を改善するとともに、それぞれのLPでの取組みを共有し、支援の充実を図ります。</p>                                                         |                 |                 |                        |                    |                     |                     |          |  |



【施策6-3】 報告書(案)P58-59

| No.                                                                                                  | 事業名             | 新規・拡充項目<br>継続   | 当初                                                                                        |                     |                       |                     | 目標                  |                     | 実績                |          |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-------------------|----------|--|
|                                                                                                      |                 |                 | H27末                                                                                      | H30末<br>(中間目標)      | R3末<br>(最終目標)         | H28末                | H29末                | H30末                | R1末               | 達成<br>状況 |  |
| 3                                                                                                    | 外国人児童生徒指導協力員の派遣 | 外国人児童生徒指導協力員の派遣 | 11人                                                                                       | 11人<br>(勤務日数<br>拡充) | 13人<br>(協力指導<br>員の増員) | 11人<br>(勤務日数<br>拡充) | 11人<br>(勤務日数<br>拡充) | 11人<br>(勤務日数<br>拡充) | 13人<br>(2人増<br>員) | 達成       |  |
|                                                                                                      |                 | 主な成果と考察         |                                                                                           |                     | 今後の取組み等               |                     |                     |                     |                   |          |  |
| <p>・令和元年度は、13人の指導協力員が468人の指導等にあたりました。児童生徒への日本語指導だけでなく、面談や家庭訪問時の保護者への支援も行うなど、精神的なケアにも大きく貢献しています。</p>  |                 |                 | <p>・令和元年度から、指導協力員を2名(中国語、フィリピン語)増員し、体制を拡充しましたが、訪問回数は足りていません。今後も指導協力員の増員等、効果的な配置に努めます。</p> |                     |                       |                     |                     |                     |                   |          |  |
| 5                                                                                                    | 学習習慣定着に向けた支援    | eラーニングの活用       | 検討                                                                                        | モデル実施               | 運用拡大                  | 検証中                 | 検証結果の<br>考察         | モデル事業<br>実施         | 実施                | 達成       |  |
|                                                                                                      |                 | 主な成果と考察         |                                                                                           |                     | 今後の取組み等               |                     |                     |                     |                   |          |  |
| <p>・新型コロナウイルス対応で、令和2年3月より前倒しで先行的に利用を開始しました。インターネットを介して家庭からの利用が可能となり、40%を超える児童生徒が利用して家庭学習を進めています。</p> |                 |                 | <p>・4月から計画的に研修等を行う予定でしたが、休校と感染防止対応のために実施できていません。資料等を配付してより効果を高める工夫を検討しています。</p>           |                     |                       |                     |                     |                     |                   |          |  |

【施策7-1】 報告書(案)P62-63

| No.                                                                                                                                                                                                           | 事業名         | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初                                                                                |                |                                |         | 目標      |                                    | 実績                                 |          |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------|--------------------------------|---------|---------|------------------------------------|------------------------------------|----------|--|
|                                                                                                                                                                                                               |             |               | H27末                                                                              | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標)                  | H28末    | H29末    | H30末                               | R1末                                | 達成<br>状況 |  |
| 2                                                                                                                                                                                                             | 放課後子ども教室の推進 | 実施日数          | 21.2日/校<br>(H26)<br>ニーズ調査<br>の実施                                                  | 30.0日/校        | 従来型<br>22日/校<br>活動支援型<br>28日/校 | 19.8日/校 | 19.8日/校 | 従来型<br>17.9日/校<br>活動支援型<br>25.9日/校 | 従来型<br>16.9日/校<br>活動支援型<br>28.0日/校 | 遅れ       |  |
|                                                                                                                                                                                                               |             | 活動支援実施校の拡充    | -                                                                                 | -              | 17校                            | -       | -       | 17校                                | 17校                                | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                               |             | 放課後子どもプランの策定  | -                                                                                 | -              | 策定                             | -       | -       | 策定                                 | 策定                                 | 達成       |  |
|                                                                                                                                                                                                               |             | 主な成果と考察       |                                                                                   |                | 今後の取組み等                        |         |         |                                    |                                    |          |  |
| <p>・従来型は、新型コロナウイルス感染拡大により活動が縮小されたため、実施日数が減少しました。また、安全管理やプログラム開発など、地域の負担が大きいことが実施日数を増加する上での課題となっています。</p> <p>・活動支援型は対象校17校を希望制により決定することで、真に必要な支援を行いました。</p> <p>・平成30年度に放課後子どもプランを策定し、放課後施策を総合的・計画的に進めています。</p> |             |               | <p>・総合コーディネーターによる活動支援を継続するとともに、引き続き対象校は希望制により決定することで、真に必要な支援を行う、実施日数の増加を図ります。</p> |                |                                |         |         |                                    |                                    |          |  |

## 2 生涯学習分野

### (1) 成果指標

※達成状況が「○」「×」となっているものだけを抜粋

#### 【施策1-1】 報告書(案)P67-68

| No. | 指標              | 当初                                                                                       | 目標             |               | 実績    |                                                                                                                    |       |       | 達成状況 |
|-----|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|------|
|     |                 | H27末                                                                                     | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末                                                                                                               | H30末  | R1末   |      |
| 1   | 生涯学習に関心のある市民の割合 | 76.9%<br>(H26)                                                                           | 83.0%          | 90.0%         | 80.5% | 75.9%                                                                                                              | 76.3% | 73.6% | ×    |
|     |                 | WEBアンケート                                                                                 |                |               |       |                                                                                                                    |       |       |      |
|     |                 | 達成状況に対する説明<br>・SNSや情報誌等各種媒体による学ぶ場と学ぶための情報提供や、生涯学習イベントを継続して実施しましたが、前年度と比較し、2.7ポイント下降しました。 |                |               |       | 今後の取組み等<br>・市民ニーズに応えた各種事業を実施するとともに、SNSを活用した情報の発信や、情報誌やチラシなどの発行回数を増加することで、学習のきっかけづくりにつなげ、生涯学習に関心のある市民の割合が増えるよう努めます。 |       |       |      |

#### 【施策1-2】 報告書(案)P71

| No. | 指標                         | 当初                                                                                         | 目標             |               | 実績   |                                                                          |       |       | 達成状況 |
|-----|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|------|--------------------------------------------------------------------------|-------|-------|------|
|     |                            | H27末                                                                                       | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末 | H29末                                                                     | H30末  | R1末   |      |
| 4   | 生涯学習施設を年1回以上利用したことのある市民の割合 | 44.1%                                                                                      | 74.0%          | 80.0%         | —    | 73.1%                                                                    | 68.0% | 73.5% | ×    |
|     |                            | WEBアンケート                                                                                   |                |               |      |                                                                          |       |       |      |
|     |                            | 達成状況に対する説明<br>・職員の資質向上に努め、市民ニーズに合った各種事業を企画するとともに、学習環境の整備を進めました。その結果、前年度と比較し、5.5ポイント上昇しました。 |                |               |      | 今後の取組み等<br>・学習環境の整備を進め、市民ニーズに応じた各種事業を実施し、学習のきっかけづくりに努め、生涯学習施設の利用者増を図ります。 |       |       |      |

#### 【施策2-2】 報告書(案)P80-81

| No. | 指標             | 当初                                                                                                               | 目標             |               | 実績    |                                                                                            |       |       | 達成状況 |
|-----|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|------|
|     |                | H27末                                                                                                             | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末                                                                                       | H30末  | R1末   |      |
| 6   | 公民館の講座の参加者の満足度 | 98.2%                                                                                                            | 99.0%          | 99.5%         | 98.5% | 98.7%                                                                                      | 98.4% | 98.4% | ×    |
|     |                | 受講者アンケート調査                                                                                                       |                |               |       |                                                                                            |       |       |      |
|     |                | 達成状況に対する説明<br>・地域における課題や利用者のニーズを把握し、主催事業を実施したものの、前年度と同じ満足度となりました。<br>・アンケートの回答数は、1,620件増加し、利用者の意見を広く聴取することができます。 |                |               |       | 今後の取組み等<br>・地域課題、利用者のニーズ、不満だった理由を的確に把握したうえで、実施時期等の検討をするとともに、講座内容や実施回数を充実し、さらなる満足度の向上を図ります。 |       |       |      |

【施策3-1】

報告書(案)P87

| No. | 指標                     | 当初                                                                                                               |                |               | 目標    |                                                                                                |       | 実績    |          |  |
|-----|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|----------|--|
|     |                        | H27末                                                                                                             | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末                                                                                           | H30末  | R1末   | 達成<br>状況 |  |
| 8   | 市民のボランティア活動・地域活動への参加状況 | 16.4%<br>(H26)                                                                                                   | 23.0%          | 30.0%         | 21.9% | 13.5%                                                                                          | 16.7% | 16.1% | ×        |  |
|     |                        | WEBアンケート                                                                                                         |                |               |       |                                                                                                |       |       |          |  |
|     |                        | 達成状況に対する説明                                                                                                       |                |               |       | 今後の取組み等                                                                                        |       |       |          |  |
|     |                        | ・生涯学習センターや公民館でボランティアやリーダーの育成講座を実施しました。<br>・前年度と比較し、0.6ポイント下降したものの、「魅力あるちらし作り」講座など団体活動の活性化を目的としたことにより受講者数は増加しました。 |                |               |       | ・市民ニーズを踏まえボランティアやリーダー育成講座の充実を図るとともに、ボランティア等の活動についての幅広い周知や、活動場所の発掘など、学習成果を地域に還元するしくみづくりに取り組めます。 |       |       |          |  |

【施策3-3】

報告書(案)P94

| No. | 指標                            | 当初                                                                                                      |                |               | 目標   |                                                                              |       | 実績    |          |  |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|------|------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|----------|--|
|     |                               | H27末                                                                                                    | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末 | H29末                                                                         | H30末  | R1末   | 達成<br>状況 |  |
| 10  | 住民同士で地域課題の解決に取り組んでいると考える市民の割合 | 24.3%<br>(H26)                                                                                          | 27.0%          | 30.0%         | —    | 28.9%                                                                        | 31.8% | 31.2% | ◎        |  |
|     |                               | WEBアンケート                                                                                                |                |               |      |                                                                              |       |       |          |  |
|     |                               | 達成状況に対する説明                                                                                              |                |               |      | 今後の取組み等                                                                      |       |       |          |  |
|     |                               | ・公民館運営審議会や運営懇談会などで議論された地域課題を講座に反映させるなどしましたが、前年度と比較し、0.6ポイント下降しました。実績値は減少したものの、最終目標は上回っており、高い水準を維持しています。 |                |               |      | ・公民館運営審議会や運営懇談会の議論の活性化をはじめ、地域の団体等と連携して主催事業を実施するなど、地域課題の解決に取り組んでいけるよう支援を続けます。 |       |       |          |  |

## (2)アクションプラン

※進捗状況が「達成」「遅れ」となっているものだけを抜粋

### 【施策1-2】 報告書(案)P72-75

| No.                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 事業名                         | 新規・拡充項目<br>継続               | 当初                                                                                                                                                                                                  |                       |                      | 目標                             |                       |                                   | 実績                                |    | 達成<br>状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------------------|-----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----|----------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                             |                             | H27末                                                                                                                                                                                                | H30末<br>(中間目標)        | R3末<br>(最終目標)        | H28末                           | H29末                  | H30末                              | R1末                               |    |          |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 生涯学習<br>施設等の<br>利用環境<br>の充実 | 生涯学習センター<br>の施設稼働率          | 51.5%<br>(H26)                                                                                                                                                                                      | 54.0%                 | 55.0%                | 58.2%                          | 62.8%                 | 64.7%                             | 60.3%                             | 達成 |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                             | 公民館の施設稼<br>働率(* 調理室を<br>除く) | 45.2%<br>(H26)                                                                                                                                                                                      | 48.0%                 | 51.0%                | 46.8%                          | 46.8%                 | 45.8%                             | 46.3%                             | 遅れ |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                             | 主な成果と考察                     |                                                                                                                                                                                                     |                       | 今後の取組み等              |                                |                       |                                   |                                   |    |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習センターの稼働率は、新型コロナウイルス感染拡大による利用自粛によって、前年度より4.4%下降しました。音楽スタジオのドラムセットを更新するとともに、食文化研修室の照明をLED化したことから利用者の好評を得ています。</li> <li>公民館の稼働率は、令和2年1月までの各月では前年度と比べて1~3%程度上昇していましたが、新型コロナウイルス感染拡大による利用自粛により、年間では0.5%上昇にとどまりました。施設・備品の老朽化対応やバリアフリー化等を進め、利用しやすい施設となるよう努めました。</li> </ul> |                             |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習センターでは、利用者の意見を参考に、利用環境を整備するほか、夜間区分の利用促進を検討していきます。</li> <li>公民館では、今後も計画的に施設の修繕を行い、利用しやすい施設とは何かという事を念頭に置きながら、どのような利用者の方でも気軽に利用できる環境づくりを図っていきます。</li> </ul> |                       |                      |                                |                       |                                   |                                   |    |          |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 図書館<br>サービスの<br>向上          | 地区図書館の開<br>館時間の拡大           | —                                                                                                                                                                                                   | 1館                    | 1館                   | 0館                             | 0館                    | 0館                                | 0館                                | 遅れ |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                             | 分館における休日<br>開館の実施           | —                                                                                                                                                                                                   | 3館                    | 3館                   | 0館                             | 0館                    | 0館                                | 0館                                | 遅れ |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                             | 主な成果と考察                     |                                                                                                                                                                                                     |                       | 今後の取組み等              |                                |                       |                                   |                                   |    |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館が地域の「知の拠点」として豊かな市民生活や本市の発展に貢献できるように、実現したい図書館の未来像を描き、逆算する形で取り組むべき施策を示す指針として、新たな図書館計画「千葉市図書館ビジョン2040」を策定しました。</li> <li>平成29年3月に開館した「みずほハスの花図書館」において、休館日である月曜日の開館を実現しました。</li> </ul>                                                                                    |                             |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな図書館計画「図書館ビジョン2040(令和2年3月策定)」のロードマップ(案)を確定し、そのスケジュールに基づき、各年度策定する事業計画において具体化する施設整備に併せ、開館時間の延長や祝日開館の実現に向け取組みを進めます。</li> </ul>                                |                       |                      |                                |                       |                                   |                                   |    |          |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 公民館の<br>改築                  | 犢橋公民館の改<br>築                | 基本設計                                                                                                                                                                                                | H30年4月<br>供用開始        | 供用                   | 建設中<br>(H29年10<br>月供用開始<br>予定) | H29年10月<br>供用開始       | H29年10月<br>供用開始<br>(H29の実<br>績再掲) | H29年10月<br>供用開始<br>(H29の実<br>績再掲) | 達成 |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                             | 主な成果と考察                     |                                                                                                                                                                                                     |                       | 今後の取組み等              |                                |                       |                                   |                                   |    |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者・関係者からの要望を受け、当初の予定を6か月前倒し、平成29年10月に供用開始しました。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                              |                             |                             |                                                                                                                                                                                                     |                       |                      |                                |                       |                                   |                                   |    |          |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 公民館の<br>改修                  | 冷暖房設備改修                     | 3館<br>(H26)                                                                                                                                                                                         | 1館<br>(H30末ま<br>での累計) | 4館<br>(R3末ま<br>での累計) | 計1館<br>(H28:1館実<br>施)          | 計2館<br>(H29:1館実<br>施) | 計2館<br>(H30:0館実<br>施)             | 計5館<br>(R1:3館実<br>施)              | 達成 |          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                             | 主な成果と考察                     |                                                                                                                                                                                                     |                       | 今後の取組み等              |                                |                       |                                   |                                   |    |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>冷暖房設備改修は、中長期保全計画に基づき進めています。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                  |                             |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>既設公共施設の長寿命化及び効率的な保全改修は全国的な課題となっています。計画的な維持保全を行うための個別施設計画の策定を進めています。</li> </ul>                                                                               |                       |                      |                                |                       |                                   |                                   |    |          |

【施策1-2】 報告書(案)P72-75

| No. | 事業名                | 新規・拡充項目<br>継続       | 当初 目標                                                                      |                                  |                     | 実績                                       |                     |                              |                              |                    |    |
|-----|--------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|---------------------|------------------------------------------|---------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------|----|
|     |                    |                     | H27末                                                                       | H30末<br>(中間目標)                   | R3末<br>(最終目標)       | H28末                                     | H29末                | H30末                         | R1末                          | 達成<br>状況           |    |
| 6   | 中央図書館・生涯学習センター等の改修 | 中央図書館・生涯学習センターの改修   | 中央監視装置更新<br>(H26)                                                          | アトリウム<br>ガーデン屋根防水                | 工事完了済               | 実施設計                                     | H30年3月<br>工事完了      | H30年3月<br>工事完了<br>(H29の実績再掲) | H30年3月<br>工事完了<br>(H29の実績再掲) | 達成                 |    |
|     |                    |                     |                                                                            | 吊天井落下<br>防止対策                    | 工事完了済               | 実施設計                                     | H30年3月<br>工事完了      | H30年3月<br>工事完了<br>(H29の実績再掲) | H30年3月<br>工事完了<br>(H29の実績再掲) | 達成                 |    |
|     |                    |                     | 主な成果と考察                                                                    |                                  |                     | 今後の取組み等                                  |                     |                              |                              |                    |    |
|     |                    |                     | ・中央図書館・生涯学習センターのアトリウムガーデン屋根防水、吊天井落下防止対策は平成30年3月に完了しました。                    |                                  |                     | ・施設利用者への影響を考慮しながら、効率的な施設改修を検討します。        |                     |                              |                              |                    |    |
| 7   | コミュニティセンターの改修      | 外壁・屋上防水改修           | 工事2館<br>(H26)                                                              | —                                | 実施設計1館              | 計工事0館<br>(H28:0館実施)                      | 計工事0館<br>(H29:0館実施) | 計工事1館<br>(H30:1館実施)          | 計工事1館<br>(R1:0館実施)           | 達成                 |    |
|     |                    |                     |                                                                            | 実施設計1館<br>(H26)<br>工事1館<br>(H26) | 工事1館<br>(H30末までの累計) | 実施設計1館<br>工事1館                           | 計工事1館<br>(H28:1館実施) | 計工事1館<br>(H29:0館実施)          | 計工事2館<br>(H30:1館実施)          | 計工事2館<br>(R1:0館実施) | 達成 |
|     |                    |                     |                                                                            | —                                | 2館<br>(H30末までの累計)   | 3館                                       | 計2館<br>(H28:2館実施)   | 計2館<br>(H29:0館実施)            | 計2館<br>(H30:0館実施)            | 計3館<br>(R1:1館実施)   | 達成 |
|     |                    |                     | 主な成果と考察                                                                    |                                  |                     | 今後の取組み等                                  |                     |                              |                              |                    |    |
|     |                    |                     | ・中期保全計画に基づき、計画的に施設改修を進めました。令和元年度は穴川コミュニティセンターの劣化度調査を実施しました。                |                                  |                     | ・今後も、計画的に施設改修を実施します。                     |                     |                              |                              |                    |    |
| 9   | 公民館への社会教育主事配置      | 公民館における社会教育主事資格取得者数 | —                                                                          | —                                | 12人                 | —                                        | —                   | 13人                          | 15人                          | 達成                 |    |
|     |                    |                     | 主な成果と考察                                                                    |                                  |                     | 今後の取組み等                                  |                     |                              |                              |                    |    |
|     |                    |                     | ・職員の専門性を向上することにより、社会教育活動を活発化するため、公民館職員の社会教育主事資格取得を進めたことにより、資格取得者が2人増加しました。 |                                  |                     | ・今後も社会教育主事講習に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増に努めます。 |                     |                              |                              |                    |    |

【施策2-1】 報告書(案)P77-79

| No. | 事業名          | 新規・拡充項目<br>継続 | 当初 目標                                                                                        |                |               | 実績                                                                |                        |                        |                        |          |
|-----|--------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------|
|     |              |               | H27末                                                                                         | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                              | H29末                   | H30末                   | R1末                    | 達成<br>状況 |
| 1   | 加曾利貝塚の特別史跡指定 | 総括報告書の刊行      | 総括報告書の作成                                                                                     | 総括報告書の刊行       | 総括報告書の刊行      | 総括報告書の刊行                                                          | 総括報告書の刊行<br>(H28の実績再掲) | 総括報告書の刊行<br>(H28の実績再掲) | 総括報告書の刊行<br>(H28の実績再掲) | 達成       |
|     |              |               | 主な成果と考察                                                                                      |                |               | 今後の取組み等                                                           |                        |                        |                        |          |
|     |              |               | ・平成29年10月13日付けで特別史跡に指定されました。令和元年度は台風や新型コロナウイルス感染症の影響により67,632人となり、平成30年度の77,222人と比べやや減少しました。 |                |               | ・加曾利貝塚の発掘調査や史跡整備を進めるとともに、新たな縄文体験の提供など来場者のニーズを踏まえた事業を積極的に実施して参ります。 |                        |                        |                        |          |

【施策2-1】 報告書(案)P77-79

| No.                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 事業名                  | 新規・拡充項目<br>継続              | 当初                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                    | 実績   |      |               | 達成<br>状況        |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------------|------|------|---------------|-----------------|-----|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      |                            | H27末                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | H30末<br>(中間目標)   | R3末<br>(最終目標)      | H28末 | H29末 | H30末          |                 | R1末 |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 文化財の<br>保存・活用<br>の推進 | ゆかりの家・いなげの改修               | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事 | 外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事完了 | —    | —    | —             | 電気設備工事実施設計      | 遅れ  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      | 市民ギャラリー・いなげ(旧神谷伝兵衛稲毛別荘)の改修 | 基本設計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 耐震改修、屋根防水改修工事    | 耐震改修、屋根防水改修工事完了    | 実施設計 | —    | 耐震改修、屋根防水改修工事 | 耐震改修、屋根防水改修工事完了 | 達成  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      | 主な成果と考察                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  | 今後の取組み等            |      |      |               |                 |     |
| <p>・ゆかりの家・いなげの老朽化した電気配線等の更新については実施設計は完了したものの、工事については入札不調となり実施できませんでした。</p> <p>・市民ギャラリー・いなげでは平成30年10月から耐震改修工事を2か年継続事業で実施していましたが、令和2年3月に再開しました。</p>                                                                                                                                                                                      |                      |                            | <p>・ゆかりの家・いなげは、令和元年度での実施を予定していた電気設備工事を早期に実施するため、工事範囲や手法等の仕様を見直すことで再度の入札不調を回避するための対策を講じます。また、外壁等の老朽化については、地域有形文化財としての価値を損うことが無いよう、劣化状況を注視しつつ、適切な修繕に努めます。</p> <p>・市民ギャラリー・いなげでは、工事完了を踏まえ、安全のため同時に7人までとしていた入館制限を緩和し、公開事業を促進するとともに、イベント等の開催場所とするなど用途拡充を図り、活用していきます。</p>                                                      |                  |                    |      |      |               |                 |     |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 郷土の理解を深める講座・事業の充実    | 加曾利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業    | 11事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 13事業             | 13事業               | 13事業 | 15事業 | 34事業          | 36事業            | 達成  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      | 千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業     | 24事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 26事業             | 26事業               | 26事業 | 25事業 | 28事業          | 27事業            | 達成  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      | 主な成果と考察                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  | 今後の取組み等            |      |      |               |                 |     |
| <p>・加曾利貝塚博物館では、人気のある子ども向けの講座を中心に、埋蔵文化財調査センターとの連携事業も含め、開催回数を増やすなど昨年度より2事業多い36事業を実施しました。</p> <p>・郷土博物館では、市民向けの公開講座を実施するとともに、千葉大学と共催で千葉氏公開市民講座を実施しました。また、千葉氏の普及を図るためにパネル展「千葉氏入門Q&amp;A」を開催するなど事業の充実を図ることができました。</p> <p>・埋蔵文化財調査センターは、市内公共施設でのロビー巡回展など郷土史関連事業8事業に加え、加曾利貝塚博物館と連携した「加曾利貝塚現地説明会」など、縄文関連事業を実施しました。</p>                         |                      |                            | <p>・加曾利貝塚博物館では、動物公園や県中央博物館、学校等と連携し、相互交流を伴う事業を展開して参ります。また、令和2年春に常設展示の一部をリニューアルし、より分かりやすい展示を目指します。ホームページに館長をはじめ、学芸員が担当するページを新たに開設し、貝塚や博物館の情報公開に努めます。Twitterアカウント等による迅速な情報発信に努めます。</p> <p>・郷土博物館では、魅力ある事業を展開していくうえで、その基礎となる調査研究を着実に進められるよう、専門の人材の確保、育成など体制の充実に努めて参ります。また、令和元年度にリニューアルしたホームページを活用し、郷土史についての情報を積極的に発信します。</p> |                  |                    |      |      |               |                 |     |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 特別史跡加曾利貝塚の魅力向上       | 加曾利貝塚博物館の来館者数              | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | —                | 100,000人           | —    | 丁    | 77,222人       | 67,632人         | 遅れ  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      | 主な成果と考察                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  | 今後の取組み等            |      |      |               |                 |     |
| <p>・令和元年度は台風や新型コロナウイルス感染症の影響により67,632人となり、平成30年度の77,222人と比べやや減少しました。</p> <p>・縄文春まつり、秋まつり、ナイトミュージアムの継続的な開催やSNS等を活用した情報発信により、市外からの新たな来訪者が増加傾向にあることがアンケート結果などから明らかになりました。</p> <p>・週末には来訪者が疑似発掘などの体験ができる「縄文体験プログラム」を実施しました。</p> <p>・平成31年2月に策定した「特別史跡加曾利貝塚グランドデザイン」に基づき、史跡整備の基本設計及び実施設計を行いました。</p> <p>・新博物館の基本計画策定に向け、諸室の構成等の検討を行いました。</p> |                      |                            | <p>・新たな来訪者を獲得できるイベントや縄文体験プログラムを企画・実施します。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、新たな生活様式に配慮した博物館運営に努めて参ります。</p> <p>・園路やサイン等の史跡の環境整備工事、北貝塚住居跡群観覧施設の改修工事、復元住居の新設等の史跡整備を行います。</p> <p>・新博物館について、展示・体験計画の追加検討を行い、基本計画を策定します。</p>                                                                                                        |                  |                    |      |      |               |                 |     |

【施策2-2】 報告書(案)P82-86

| No. | 事業名                 | 新規・拡充項目<br>継続                                                                                                                                                                                                                                  | 当初               |                                    |                                                                                              | 目標                |               |                                    | 実績                                 |          |  |
|-----|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|------------------------------------|------------------------------------|----------|--|
|     |                     |                                                                                                                                                                                                                                                | H27末             | H30末<br>(中間目標)                     | R3末<br>(最終目標)                                                                                | H28末              | H29末          | H30末                               | R1末                                | 達成<br>状況 |  |
| 4   | 「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備 | 「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備                                                                                                                                                                                                                            | 検討               | H29年3月<br>供用開始                     | 供用                                                                                           | H29年3月<br>28日供用開始 | 供用            | 供用                                 | 供用                                 | 達成       |  |
|     |                     | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                        |                  |                                    | 今後の取組み等                                                                                      |                   |               |                                    |                                    |          |  |
|     |                     | <p>・「(仮称)瑞穂情報図書センター(現:みずほハスの花図書館)」は、寛ぎながら読書を楽しめるスペースの設置に加え、自動貸出機、タブレット端末及びデジタルサイネージ等のICT機器を活用したサービスの導入など、新たな取組を行う図書館として、花見川区役所1階に整備を進め、平成29年3月に供用を開始しました。なお、みずほハスの花図書館の効果検証結果については、第3次実施計画事業「新たな図書館計画(現:千葉県図書館ビジョン2040)の策定」の基礎資料として活用しました。</p> |                  |                                    | <p>・開館後の利用統計を通じ、新たな図書館のモデル事例として検証を継続し、今後の施設整備を進める際のデータとして活用します。</p>                          |                   |               |                                    |                                    |          |  |
| 6   | 未来の科学者育成プログラムの充実    | 未来の科学者育成プログラムの実施(ジュニア講座受講者数)                                                                                                                                                                                                                   | 実施               | 拡充                                 | 拡充<br>(100人)                                                                                 | 拡充                | 実施<br>(受講者数減) | 71人                                | 159人                               | 達成       |  |
|     |                     | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                        |                  |                                    | 今後の取組み等                                                                                      |                   |               |                                    |                                    |          |  |
|     |                     | <p>・ジュニア講座は電子申請のほか、平成30年度の秋より市内公立小学校5・6年生全員にチラシを配付したことにより、定員を上回る応募が続き、受講者は159人となりました。</p>                                                                                                                                                      |                  |                                    | <p>・ジュニア講座では、昨年度同様市内公立小学校5・6年生全員に個別にチラシを配付し、電子申請でも受け付けます。</p>                                |                   |               |                                    |                                    |          |  |
| 8   | 放課後子ども教室の推進         | 実施日数                                                                                                                                                                                                                                           | 21.2日/校<br>(H26) | 従来型<br>19.3日/校<br>活動支援型<br>25.0日/校 | 従来型<br>22.0日/校<br>活動支援型<br>28.0日/校                                                           | 19.8日/校           | 19.8日/校       | 従来型<br>17.9日/校<br>活動支援型<br>25.9日/校 | 従来型<br>16.9日/校<br>活動支援型<br>28.0日/校 | 遅れ       |  |
|     |                     | 活動支援実施校数                                                                                                                                                                                                                                       | —                | —                                  | 17校                                                                                          | —                 | —             | 17校                                | 17校                                | 達成       |  |
|     |                     | 放課後子どもプラン策定                                                                                                                                                                                                                                    | —                | —                                  | 策定                                                                                           | —                 | —             | 策定                                 | 策定<br>(H30の実績再掲)                   | 達成       |  |
|     |                     | 主な成果と考察                                                                                                                                                                                                                                        |                  |                                    | 今後の取組み等                                                                                      |                   |               |                                    |                                    |          |  |
|     |                     | <p>・平成30年度に放課後子どもプランを策定し、放課後施策を総合的・計画的に進めています。</p> <p>・従来型は、新型コロナウイルス感染拡大により活動が縮小されたため、実施日数が減少しました。また、安全管理やプログラム開発など、地域の負担が大きいために実施日数を増加する上での課題となっています。</p> <p>・活動支援型は対象校17校を希望制により決定することで、真に必要な支援を行いました。</p>                                  |                  |                                    | <p>・総合コーディネーターによる活動支援を継続するとともに、引き続き対象校は希望制により決定することで、真に必要な支援を行う学校に必要な支援を行い、実施日数の増加を図ります。</p> |                   |               |                                    |                                    |          |  |

【施策2-2】 報告書(案)P82-86

| No.                                                                                                                                                                                                              | 事業名           | 新規・拡充項目<br>継続             | 当初                                                                                                                                                                          |                |               | 目標    |       | 実績     |         |    | 達成<br>状況 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|-------|-------|--------|---------|----|----------|
|                                                                                                                                                                                                                  |               |                           | H27末                                                                                                                                                                        | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末  | H29末  | H30末   | R1末     |    |          |
| 9                                                                                                                                                                                                                | 子ども読書活動の推進    | 読書習慣のある児童生徒の割合(小学5年生)     | 45.2%<br>(H26)                                                                                                                                                              | 49.0%          | 52.5%         | 46.0% | 48.1% | 44.0%  | 44.1%   | 遅れ |          |
|                                                                                                                                                                                                                  |               | 読書習慣のある児童生徒の割合(中学2年生)     | 46.9%<br>(H26)                                                                                                                                                              | 49.0%          | 52.5%         | 44.4% | 44.5% | 43.0%  | —       | 遅れ |          |
|                                                                                                                                                                                                                  |               | 1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合(小学生) | 1.1%<br>(H26)                                                                                                                                                               | 0.9%           | 0.8%          | 0.6%  | 0.4%  | 0.3%   | 0.6%    | 達成 |          |
|                                                                                                                                                                                                                  |               | 1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合(中学生) | 7.9%<br>(H26)                                                                                                                                                               | 6.4%           | 5.5%          | 2.8%  | 1.6%  | 1.3%   | 0.9%    | 達成 |          |
|                                                                                                                                                                                                                  |               | 主な成果と考察                   |                                                                                                                                                                             |                | 今後の取組み等       |       |       |        |         |    |          |
| <p>・「ファミリーブックタイム事例集」や「どくしょてちょう」の配布、子ども読書まつり実施などにより、子どもが自由に読書を楽しむ、読書の幅を広げていくことができるように支援し、読書環境の整備へ向けた取組みを行いました。</p>                                                                                                |               |                           | <p>・子どもの読書活動の推進を図るため、「団体貸出」や「セット貸出」により図書資料の有効活用を図るとともに、「図書館見学」、「おはなし会」、「調べ学習」など体験を通した学びを支援していきます。</p> <p>・また、令和3年3月策定予定の第4次子ども読書活動推進計画の中で図書館システムを通した学校との連携について検討していきます。</p> |                |               |       |       |        |         |    |          |
| 11                                                                                                                                                                                                               | 家庭教育支援事業の実施   | 「子育てママのおしゃべりタイム」の実施館数     | 21館<br>(H26)                                                                                                                                                                | 28館            | 28館           | 22館   | 22館   | 22館    | 22館     | 遅れ |          |
|                                                                                                                                                                                                                  |               | 「子育てママのおしゃべりタイム」の延べ参加者数   | —                                                                                                                                                                           | —              | 2,500人        | —     | —     | 1,925人 | 1,677人  | 遅れ |          |
|                                                                                                                                                                                                                  |               | 主な成果と考察                   |                                                                                                                                                                             |                | 今後の取組み等       |       |       |        |         |    |          |
| <p>・家庭教育の支援や子育ての不安や悩みを解消するため、「子育てママのおしゃべりタイム」を公民館で実施しました。当該事業の担い手である子育てサポーターや地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数や場所を調整しています。少子化や就労家庭の増加により参加者数は減少しており、実施館数の増加には至っていません。令和元年度は自然災害や新型コロナウイルス感染拡大により活動が縮小され、実施回数・参加者数は減少しました。</p> |               |                           | <p>・引き続き、人材の確保などの実施体制を強化しながら、地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数や場所を調整していきます。また、子育てサポーター間で情報交換をし、よい取組みを共有します。</p>                                                                          |                |               |       |       |        |         |    |          |
| 13                                                                                                                                                                                                               | 公民館主催講座の実施・拡充 | 主催講座の実施・拡充                | —                                                                                                                                                                           | —              | 900講座         | —     | —     | 972講座  | 1,085講座 | 達成 |          |
|                                                                                                                                                                                                                  |               | 主な成果と考察                   |                                                                                                                                                                             |                | 今後の取組み等       |       |       |        |         |    |          |
| <p>・幅広い学習ニーズに応えるため、関係機関と連携・協力を行い、各公民館で1～2講座を増やすことに取り組み、様々な講座を実施しました。</p>                                                                                                                                         |               |                           | <p>・今後も利用者ニーズを把握し、学習機会の提供に努めていきます。</p>                                                                                                                                      |                |               |       |       |        |         |    |          |



【施策3-1】 報告書(案)P88-89

| No.                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 事業名                  | 新規・拡充項目<br>継続        | 当初                                                                                                                                                                           |                |               | 実績     |        |        | 達成<br>状況 |     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|--------|--------|--------|----------|-----|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                      |                      | H27末                                                                                                                                                                         | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末   | H29末   | H30末   |          | R1末 |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 団体・グループ活動のリーダーの養成・育成 | 指導者養成研修<br>* 延受講者数   | 333人<br>(H26)                                                                                                                                                                | 370人           | 400人          | 389人   | 364人   | 347人   | 316人     | 遅れ  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                      | 主な成果と考察              |                                                                                                                                                                              |                | 今後の取組み等       |        |        |        |          |     |
| <p>・生涯学習センターでは、リーダーとしての資質向上や育成につながる内容の研修事業を展開しました。団体活動に必要なコミュニケーション能力の向上や広報の方法等多くの受講者を集めることができる内容ではないことや、PTA役員や放課後子ども教室コーディネーター等の受講対象者が限定される事業もあるため、受講希望者は目標値に至らなかったものの、団体活動に重要な研修の提供に努めました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初実施予定講座のうち、1講座が中止となったことも影響しています。</p> <p>・公民館では、団体・グループ活動のリーダーの養成・育成講座を実施しました。</p> |                      |                      | <p>・生涯学習センターでは、受講者のニーズを把握して、指導者として必要な資質を高めるための研修を実施します。また、団体活動活性化に必要なコミュニケーションのとり方に目的を置くなど、活動に関わる方が積極的に参加できる研修を実施します。</p> <p>・公民館では、引き続き、地域活動に役立つ講座を実施し、指導者養成に取り組んでいきます。</p> |                |               |        |        |        |          |     |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ボランティアの育成            | ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数 | 1,634人<br>(H26)                                                                                                                                                              | 1,850人         | 2,000人        | 1,635人 | 1,697人 | 1,743人 | 1,834人   | 遅れ  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                      | 主な成果と考察              |                                                                                                                                                                              |                | 今後の取組み等       |        |        |        |          |     |
| <p>・ちば生涯学習ボランティアセンターの登録者数は着実に増加してはいますが、高齢化や団体の活動停止等による減少の影響もあり、大幅な増加は困難となっています。</p>                                                                                                                                                                                                                  |                      |                      | <p>・引き続き、合同説明会の開催等を通して、他の施設・団体が所管するボランティア等との連携・協働を図るとともに、ボランティアセンターの広報活動の充実にも努めます。</p>                                                                                       |                |               |        |        |        |          |     |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 家庭教育支援事業の実施(一部再掲)    | 家庭教育支援チーム数           | 2チーム<br>(H26)                                                                                                                                                                | 4チーム           | 4チーム          | 2チーム   | 2チーム   | 2チーム   | 2チーム     | 遅れ  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                      | 子育てサポーター人数           | 33人<br>(H26)                                                                                                                                                                 | 42人            | 42人           | 36人    | 39人    | 35人    | 37人      | 遅れ  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                      | 主な成果と考察              |                                                                                                                                                                              |                | 今後の取組み等       |        |        |        |          |     |
| <p>・子育ての悩みなどを相談できる場所として認知されてきており、今後も継続的な需要が見込めます。また、家庭教育支援チームは、地域団体(育成委員会やPTAなど)との会議や共催で行う学習講座なども行っており、地域とのつながりを深めつつ地域人材を育成しています。就労されている方の負担などが理由で、チーム数やサポーター人数は目標値に至っておらず、特に家庭教育支援チームは臨床心理士や保育士等で構成されるため、人材の確保が課題となっています。</p>                                                                       |                      |                      | <p>・人材の確保については、引き続き、公民館や学校の協力を得て、子育てサポーターや青少年育成委員等の既存の家庭教育関連団体に適切な人材の紹介を呼びかけるとともに、チームが開催するイベント等についてもより一層の広報PRに努め、参加者を含めより幅広く参画を働きかけていきます。</p>                                |                |               |        |        |        |          |     |

【施策3-2】 報告書(案)P91-93

| No.                                                                                                         | 事業名                       | 新規・拡充項目<br>継続               | 当初                                                                |                |               | 実績   |      |      | 達成<br>状況 |     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|------|------|------|----------|-----|
|                                                                                                             |                           |                             | H27末                                                              | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末 | H29末 | H30末 |          | R1末 |
| 4                                                                                                           | ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施 | ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート | 198件<br>(H26)                                                     | 230件           | 260件          | 231件 | 221件 | 234件 | 262件     | 達成  |
|                                                                                                             |                           | 主な成果と考察                     |                                                                   |                | 今後の取組み等       |      |      |      |          |     |
| <p>・新規施設・団体からの依頼が着実に増加しており、順調に推移しています。また、ボランティアの派遣について潜在的なニーズを見込むことができる小・中学校や公民館へ直接事業説明を行い、広報活動にも努めました。</p> |                           |                             | <p>・ボランティア先生紹介ミニ講座等で、活動の様子をわかりやすく伝え、新しい利用者の開拓に努め、件数を増やしていきます。</p> |                |               |      |      |      |          |     |

【施策3-3】 報告書(案)P95-96.

| No.                                                                                 | 事業名                     | 新規・拡充項目<br>継続                                     | 当初             |                |               | 目標                                                                       |       | 実績    |       |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------|----------------|----------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|----------|
|                                                                                     |                         |                                                   | H27末           | H30末<br>(中間目標) | R3末<br>(最終目標) | H28末                                                                     | H29末  | H30末  | R1末   | 達成<br>状況 |
| 1                                                                                   | 多様な主体による<br>学習活動<br>の推進 | 公民館、生涯学習<br>センターにおいて<br>多様な主体と連携<br>して実施した事業<br>数 | 103事業<br>(H26) | 115事業          | 120事業         | 114事業                                                                    | 109事業 | 131事業 | 141事業 | 達成       |
| 主な成果と考察                                                                             |                         |                                                   |                |                |               | 今後の取組み等                                                                  |       |       |       |          |
| ・NPO法人や地域団体などと連携し、生涯学習センターでは91講座、公民館では50講座を実施しました。様々な団体と連携することで、多彩な事業を実施することができました。 |                         |                                                   |                |                |               | ・NPO法人をはじめ、大学、民間企業、地域団体、生涯学習施設で活動している団体等と連携し、地域課題の把握に努め、学習内容と機会の充実に努めます。 |       |       |       |          |

## 千葉市立小学校設置条例の一部改正について

### 1 改正の趣旨

子どもたちのよりよい教育環境の整備と教育の質の充実を目的とした学校適正配置により、統合校を設置するため、所要の改正を行うものである。

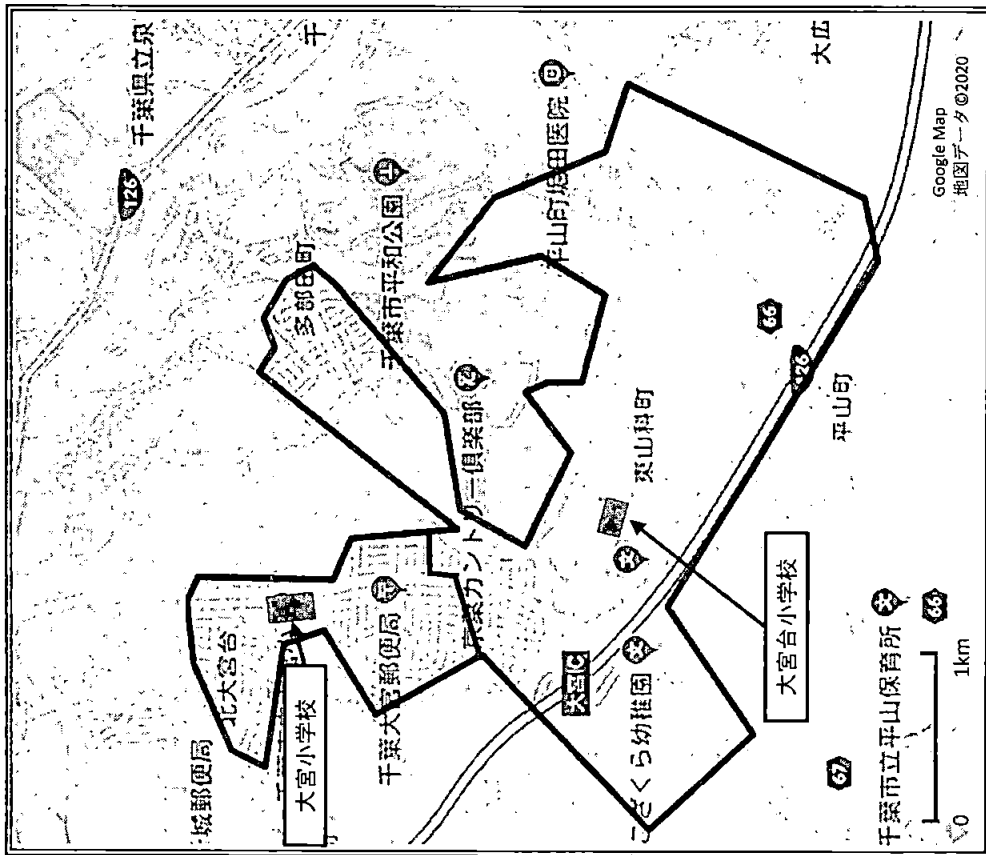
### 2 統合校の概要

| 統 合 後         |                                                |                                       | 統 合 前          |                                       |
|---------------|------------------------------------------------|---------------------------------------|----------------|---------------------------------------|
| 名 称           | 位 置                                            | 学校規模<br>(開校時R3.4.1の<br>予定)            | 名 称            | 学校規模<br>(R2.5.1現在)                    |
| 千葉市立<br>大宮小学校 | 千葉市立<br>大宮小学校の位置<br>(千葉市若葉区<br>大宮台7丁目<br>8番1号) | 学級数：7<br>児童数：197<br>(特別支援学級<br>1学級含む) | 千葉市立<br>大宮小学校  | 学級数：7<br>児童数：165<br>(特別支援学級<br>1学級含む) |
|               |                                                |                                       | 千葉市立<br>大宮台小学校 | 学級数：5<br>児童数：46<br>(特別支援学級<br>1学級含む)  |

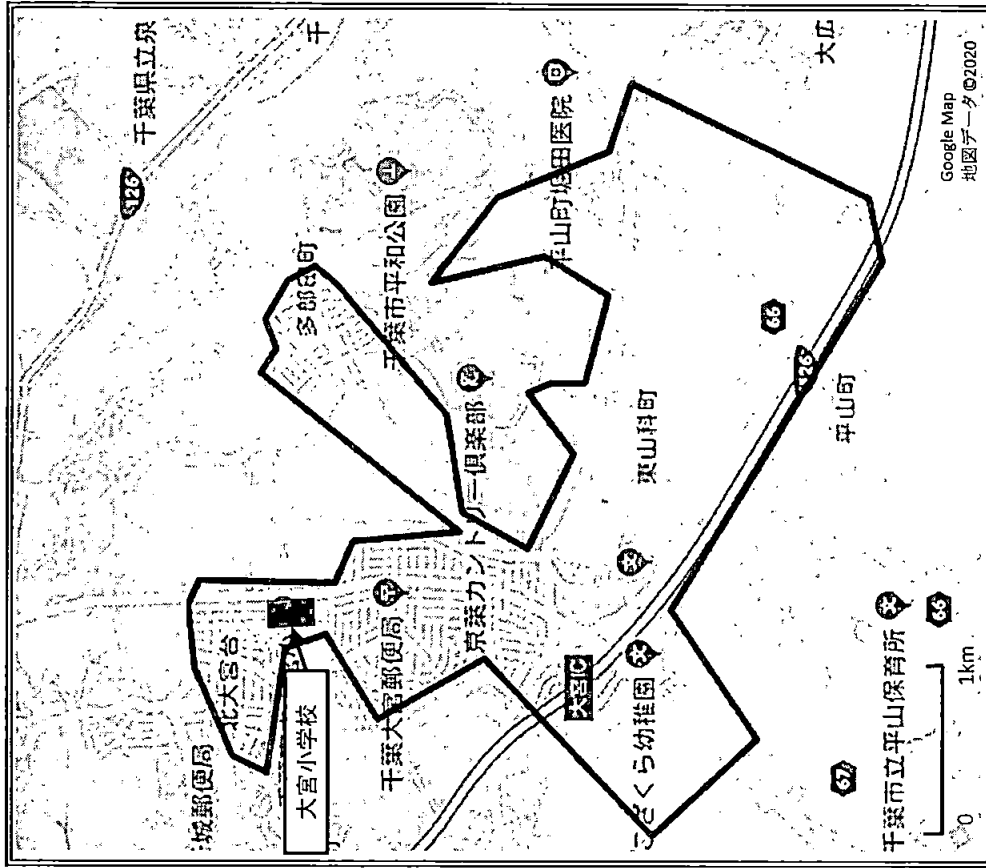
### 3 施行期日

令和3年4月1日

通学区域图 統合前(大宮小・大宮台小)



通学区域图 統合後(大宮小)



新旧対照表（千葉市立小学校設置条例の一部を改正する条例）

千葉市立小学校設置条例（昭和39年千葉市条例第15号）の一部を次のように改正する。

| 改正前                                                |                          | 改正後                                                |      |
|----------------------------------------------------|--------------------------|----------------------------------------------------|------|
| 第1条（略）<br><br>（名称等）<br>第2条 市立小学校の名称及び位置は、次のとおりとする。 |                          | 第1条（略）<br><br>（名称等）<br>第2条 市立小学校の名称及び位置は、次のとおりとする。 |      |
| 名称                                                 | 位置                       | 名称                                                 | 位置   |
| 千葉市立新宿小学校<br>～千葉市立幕張西小学校                           | (略)                      | 千葉市立新宿小学校<br>～千葉市立幕張西小学校                           | (略)  |
| <u>千葉市立大宮台小学校</u>                                  | <u>千葉市若葉区大宮町 2,082番地</u> | (削る)                                               | (削る) |
| 千葉市立草野小学校<br>～千葉市立千城台わかば小学校                        | (略)                      | 千葉市立草野小学校<br>～千葉市立千城台わかば小学校                        | (略)  |
| 附 則<br>(略)                                         |                          | 附 則<br>(略)                                         |      |

備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。

附 則

この条例は、令和3年4月1日から施行する。



## 千葉市立中学校設置条例の一部改正について

### 1 改正の趣旨

子どもたちのよりよい教育環境の整備と教育の質の充実を目的とした学校適正配置により、統合校を設置するため、所要の改正を行うものである。

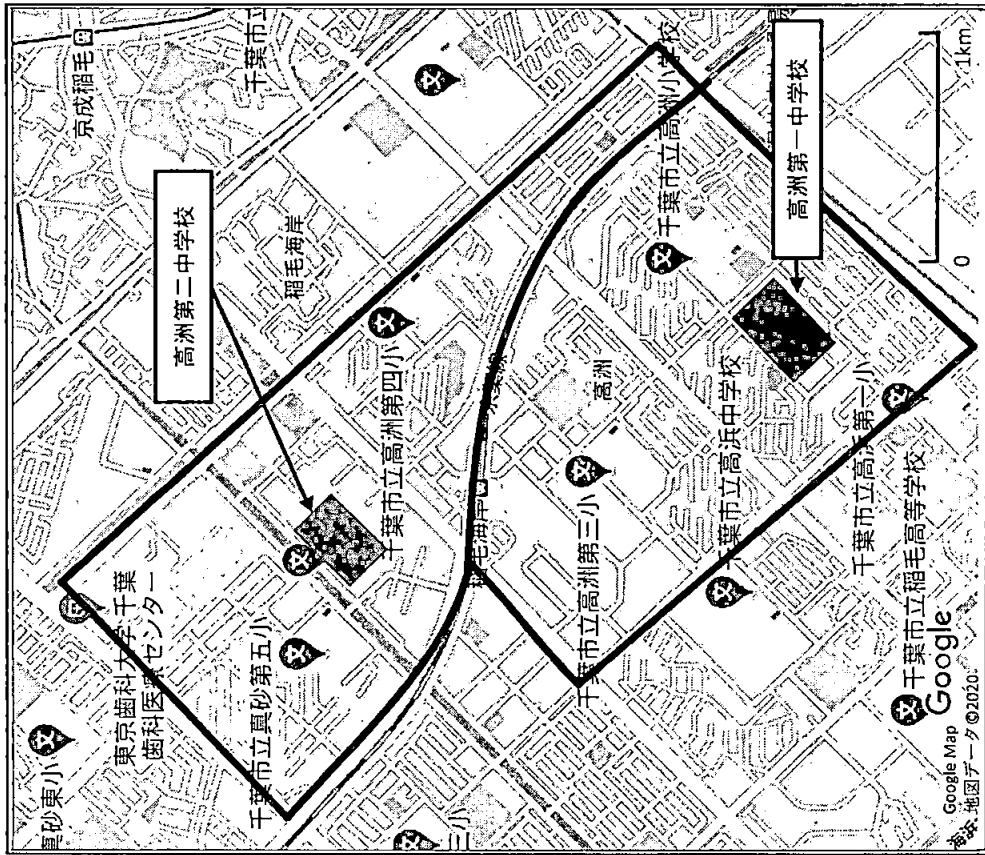
### 2 統合校の概要

| 統 合 後                   |                                                      |                            | 統 合 前           |                    |
|-------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------|-----------------|--------------------|
| 名 称                     | 位 置                                                  | 学校規模<br>(開校時R3.4.1の<br>予定) | 名 称             | 学校規模<br>(R2.5.1現在) |
| 千葉市立<br>高洲中学校<br>(統合新設) | 千葉市立<br>高洲第一中学校<br>の位置<br>(千葉市美浜区<br>高洲2丁目<br>3番18号) | 学級数：12<br>生徒数：415          | 千葉市立<br>高洲第一中学校 | 学級数：9<br>生徒数：316   |
|                         |                                                      |                            | 千葉市立<br>高洲第二中学校 | 学級数：4<br>生徒数：94    |

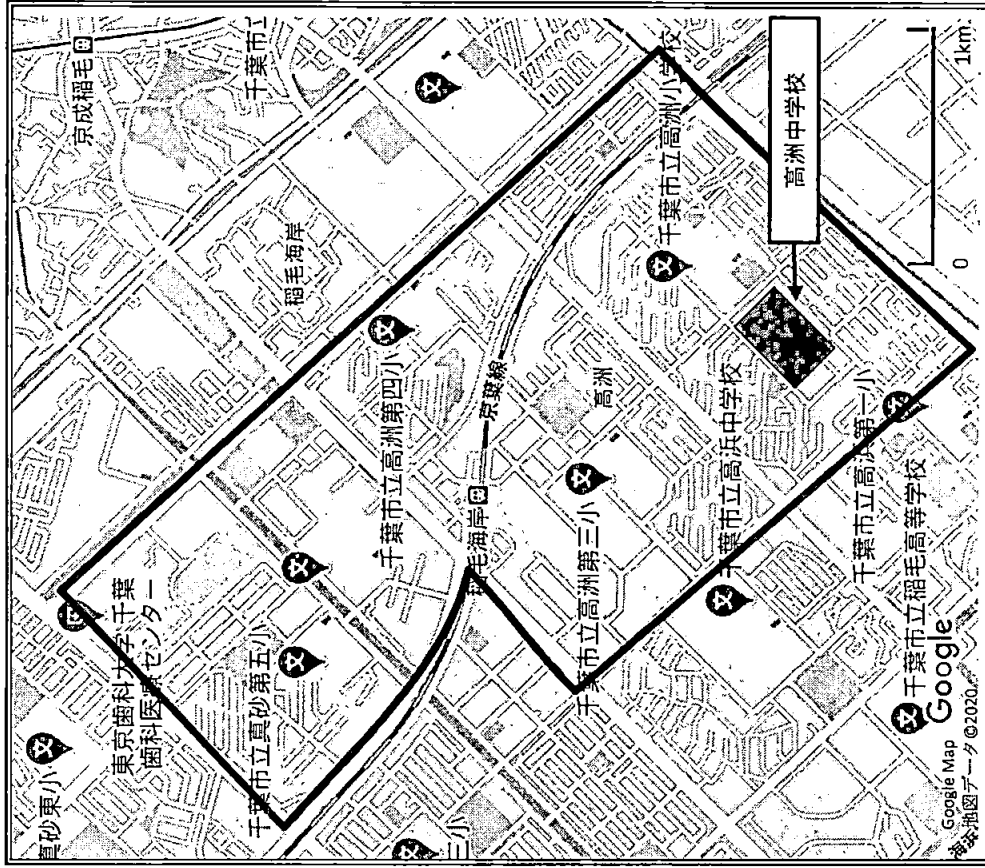
### 3 施行期日

令和3年4月1日

通学区域図 統合前(高洲第一中・第二中)



通学区域図 統合後(高洲中)





新旧対照表（千葉市立中学校設置条例の一部を改正する条例）

千葉市立中学校設置条例（昭和39年千葉市条例第16号）の一部を次のように改正する。

| 改正前                         |                         | 改正後                         |                         |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 第1条（略）                      |                         | 第1条（略）                      |                         |
| （名称等）                       |                         | （名称等）                       |                         |
| 第2条 市立中学校の名称及び位置は、次のとおりとする。 |                         | 第2条 市立中学校の名称及び位置は、次のとおりとする。 |                         |
| 名称                          | 位置                      | 名称                          | 位置                      |
| 千葉市立加曽利中学校～千葉市立さつきが丘中学校     | （略）                     | 千葉市立加曽利中学校～千葉市立さつきが丘中学校     | （略）                     |
| <u>千葉市立高洲第一中学校</u>          | <u>千葉市美浜区高洲2丁目3番18号</u> | （削る）                        | （削る）                    |
| 千葉市立大宮中学校～千葉市立千城台南中学校       | （略）                     | 千葉市立大宮中学校～千葉市立千城台南中学校       | （略）                     |
| <u>千葉市立高洲第二中学校</u>          | <u>千葉市美浜区高洲4丁目4番3号</u>  | （削る）                        | （削る）                    |
| 千葉市立みつわ台中学校～千葉市立花見川中学校      | （略）                     | 千葉市立みつわ台中学校～千葉市立花見川中学校      | （略）                     |
| （新設）                        | （新設）                    | <u>千葉市立高洲中学校</u>            | <u>千葉市美浜区高洲2丁目3番18号</u> |
| 附 則<br>（略）                  |                         | 附 則<br>（略）                  |                         |

備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。

附 則  
この条例は、令和3年4月1日から施行する。



(学校教育部 教育改革推進課)

財産の取得について(G I G Aスクール用パーソナルコンピュータ及び  
G I G Aスクール用電源キャビネット)

G I G Aスクール構想の実現のため、G I G Aスクール用パーソナルコンピュータ及びG I G Aスクール用電源キャビネットの購入を行うもの。

1 取得財産

- (1) G I G Aスクール用パーソナルコンピュータ 76,949台
- (2) G I G Aスクール用電源キャビネット
  - ア パーソナルコンピュータ44台用電源キャビネット 2,243台
  - イ パーソナルコンピュータ22台用電源キャビネット 168台

2 納入場所

市立小・中・特別支援学校(高等部を除く)及び教育センター

3 取得予定価額及び取得先

- (1) G I G Aスクール用パーソナルコンピュータ
  - ア 取得予定価額 3,681,883,700円
  - イ 取得先 S k y株式会社
- (2) G I G Aスクール用電源キャビネット
  - ア 取得予定価額 215,533,010円
  - イ 取得先 リコージャパン株式会社

4 予算措置

|                         | 予算額            |
|-------------------------|----------------|
| G I G Aスクール用パーソナルコンピュータ | 4,186,404,640円 |
| G I G Aスクール用電源キャビネット    | 653,874,871円   |
| 合計                      | 4,840,279,511円 |



## 損害賠償額の決定及び和解について

### 1 趣旨

平成 29 年 1 月に締結した「人事給与情報システム機器等賃貸借契約」について、システムの刷新（令和 2 年 8 月稼働）に伴い、旧システム用に賃借しているパソコン等機器が不要となることから、賃貸借期間（5 年間）を 1 年 4 か月短縮する変更契約を行った。

これに伴い、相手方が得られるはずであった当該短縮期間分の賃貸借料相当額について損害賠償額として決定し和解する。

### 2 概要

#### (1) 人事給与情報システム機器等賃貸借契約（原契約）について

- ア 相手方 東京都千代田区丸の内 3 丁目 4 番 1 号  
株式会社 JECC
- イ 賃貸借期間 平成 29 年 2 月 1 日から令和 4 年 1 月 31 日まで（5 年）
- ウ 賃貸借料金 73,211,040 円
- エ 契約日 平成 29 年 1 月 6 日

#### (2) 変更契約について

- ア 賃貸借期間 平成 29 年 2 月 1 日から令和 2 年 9 月 30 日まで（3 年 8 か月）
- イ 賃貸借料金 53,823,672 円
- ウ 変更契約日 令和 2 年 4 月 1 日

#### (3) 損害賠償額 13,280,320 円

※短縮した令和 2 年 10 月から令和 4 年 1 月迄の賃貸借料金（19,884,480 円）から、当該期間の保守作業料（6,323,680 円）及び中間利息（280,480 円）を控除した額

[参考] 変更契約前後の総支払額

単位：円

|     | 賃借料        | 損害賠償       | 合計         |
|-----|------------|------------|------------|
| 変更前 | 73,211,040 | —          | 73,211,040 |
| 変更後 | 53,823,672 | 13,280,320 | 67,103,992 |

合計の差 ▲6,107,048

#### (4) 和解条項の概要

- ア 千葉市は、相手方に対し、13,280,320 円の損害賠償義務があることを認める。
- イ 千葉市は、相手方に対し、令和 2 年 10 月末までに損害賠償額を支払う。
- ウ 千葉市及び相手方は、本和解条項に定めるもののほか、何らの債権債務のないことを相互に確認する。
- エ 本和解条項は、千葉市議会の議決を得た時に効力を生ずるものとする。

6

令和2年教育委員会会議第8回定例会出席者(第一・第二会議室)

